

# 2024年度 決算概要

ダイキョーニシカワ株式会社

2025年 5月

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 1. 2024年度 実績         | P. 2  |
| 2. 2025年度 連結業績予想     | P. 9  |
| 3. 2027年度中期経営計画の進捗状況 | P. 15 |

※本資料において「当期(四半期/中間)純利益」は、「親会社株主に帰属する当期(四半期/中間)純利益」を示しております。  
海外連結子会社の連結累計期間は1月1日～12月31日です。

# 1. 2024年度 実績

# 2024年度 連結実績（連結業績予想比）



|      |                              |
|------|------------------------------|
| 総括   | 11月公表の業績予想と比べて増収増益           |
| 売上高  | 主要顧客の生産台数の増加等により増収           |
| 営業利益 | 中米での為替影響等はあったものの、増収影響により増益   |
| 経常利益 | 開発中止補償収入、下期に為替差益を計上したことにより増益 |

|       | (百万円)               |          |        |       |
|-------|---------------------|----------|--------|-------|
|       | FY2024予想<br>(11月公表) | FY2024実績 | 増減額    | 増減率   |
| 売上高   | 166,900             | 168,561  | 1,661  | 1.0%  |
| 営業利益  | 9,700               | 10,004   | 304    | 3.1%  |
| 営業利益率 | 5.8%                | 5.9%     | 0.1pts |       |
| 経常利益  | 8,600               | 9,688    | 1,088  | 12.7% |
| 当期純利益 | 5,700               | 6,498    | 798    | 14.0% |

# 2024年度 連結実績（前期比）



|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 総括   | 前期と比べて増収増益                       |
| 売上高  | 北米の2直生産が通期で寄与したことと、邦貨換算影響等により増収  |
| 営業利益 | コスト改善活動、減価償却費等の減少により増益           |
| 経常利益 | 為替差損（△386）を計上したものの、営業利益の増加等により増益 |

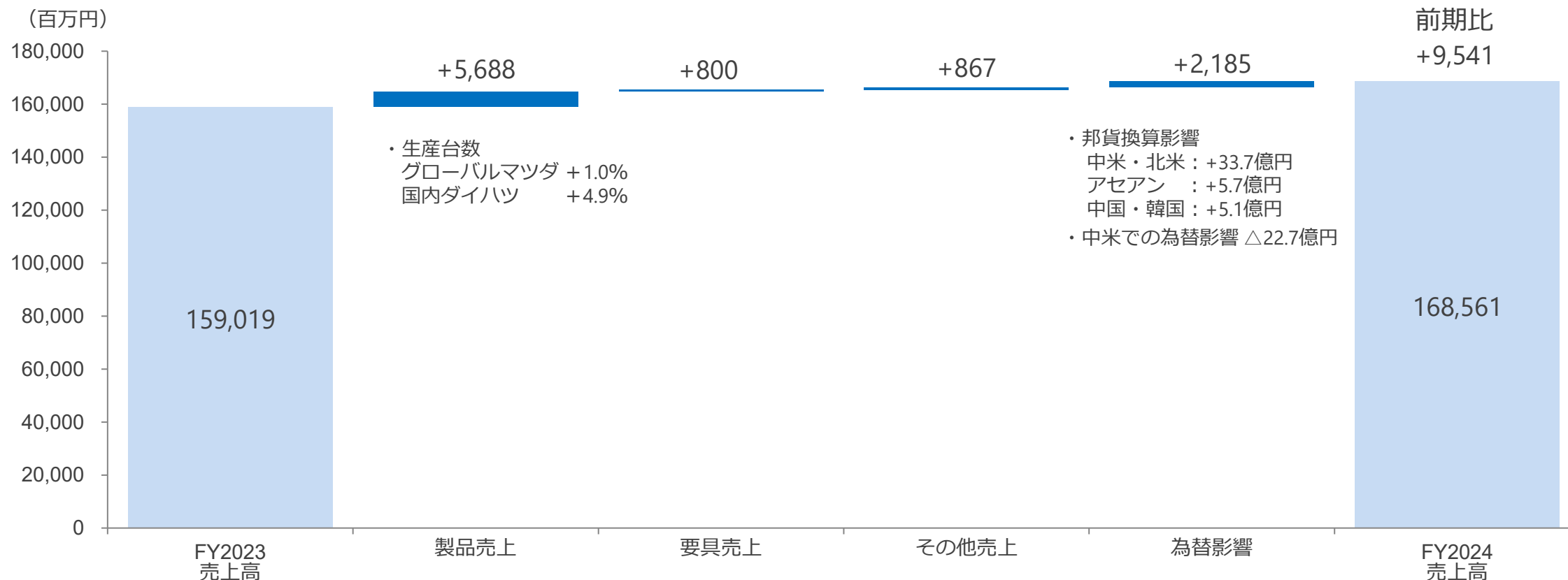
(百万円)

|                 | FY2023実績   | FY2024実績   | 増減額    | 増減率   |
|-----------------|------------|------------|--------|-------|
| 売上高             | 159,019    | 168,561    | 9,541  | 6.0%  |
| 営業利益            | 8,690      | 10,004     | 1,314  | 15.1% |
| 営業利益率           | 5.5%       | 5.9%       | 0.4pts |       |
| 経常利益            | 8,775      | 9,688      | 912    | 10.4% |
| 当期純利益           | 5,782      | 6,498      | 715    | 12.4% |
| 為替レート<br>(対米ドル) | 実績：140.55円 | 実績：151.57円 |        |       |

# 2024年度 連結売上高 増減要因（前期比）



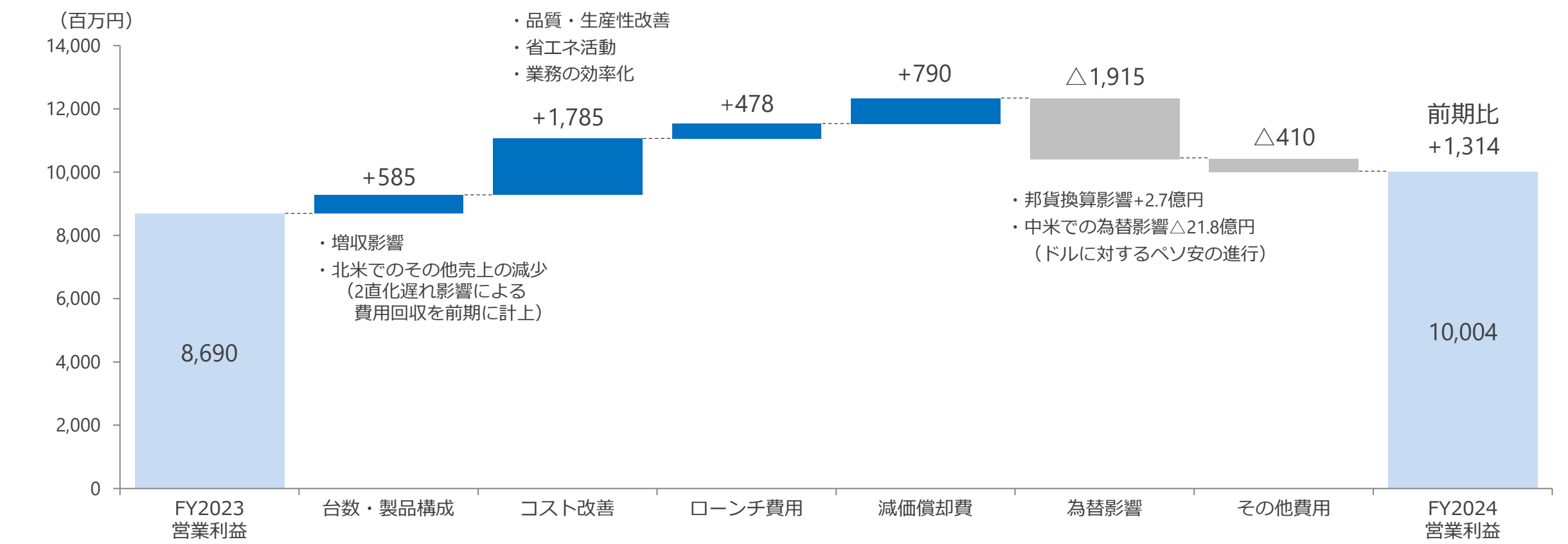
|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 総括   | 北米の2直生産が通期で寄与したことで、邦貨換算影響等により増収 |
| 製品売上 | 中米・北米を中心とした主要顧客の生産台数の増加等により増加   |
| 為替影響 | 中米での為替影響はあったものの、邦貨換算影響により増加     |



# 2024年度 連結営業利益 増減要因（前期比）



|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 総括    | コスト改善活動、減価償却費等の減少により増益       |
| コスト改善 | 品質・生産性改善、省エネ活動の推進、業務の効率化等を実施 |
| 為替影響  | 邦貨換算影響はあったものの、中米での為替影響により減少  |



# 2024年度 セグメント別 外部売上高（前期比）



|       |                                            |
|-------|--------------------------------------------|
| 日本    | 主要顧客の生産台数の減少はあったものの、要具売上とその他売上（試作）の増加により増収 |
| 中米・北米 | 北米の2直生産が通期で寄与したことと、邦貨換算影響により増収             |
| アセアン  | タイ、インドネシアともに顧客生産台数が減少したことにより減収             |
| 中国・韓国 | 現地顧客への製品売上・要具売上の増加、邦貨換算影響により増収             |

|     |       | (百万円)    |        |          |        |        |       |
|-----|-------|----------|--------|----------|--------|--------|-------|
|     |       | FY2023実績 |        | FY2024実績 |        | 前期比    |       |
|     |       | 売上高      | 構成比    | 売上高      | 構成比    | 増減額    | 増減率   |
| 国内  | 日 本   | 103,292  | 65.0%  | 103,791  | 61.6%  | 499    | 0.5%  |
| 海外  | 海 外 計 | 55,727   | 35.0%  | 64,769   | 38.4%  | 9,042  | 16.2% |
|     | 中米・北米 | 38,181   | 24.0%  | 46,308   | 27.5%  | 8,126  | 21.3% |
|     | アセアン  | 11,965   | 7.5%   | 10,807   | 6.4%   | △1,157 | △9.7% |
|     | 中国・韓国 | 5,580    | 3.5%   | 7,654    | 4.5%   | 2,073  | 37.2% |
| 合 計 |       | 159,019  | 100.0% | 168,561  | 100.0% | 9,541  | 6.0%  |

# 2024年度 セグメント別 営業損益（前期比）



|       |                                               |
|-------|-----------------------------------------------|
| 日本    | コスト改善活動、減価償却費等の減少により増益                        |
| 中米・北米 | 北米でのその他売上の減少（2直化遅れの費用回収を前期に計上）、中米での為替影響等により減益 |
| アセアン  | 減収影響等により減益                                    |
| 中国・韓国 | 要具売上の増加、ローンチ費用の減少等により赤字幅を縮小                   |

(百万円)

|      |       | FY2023実績 |        | FY2024実績 |        | 前期比   |        |
|------|-------|----------|--------|----------|--------|-------|--------|
|      |       | 営業損益     | 構成比    | 営業損益     | 構成比    | 増減額   | 増減率    |
| 国内   | 日本    | 4,713    | 53.6%  | 6,797    | 66.6%  | 2,083 | 44.2%  |
| 海外   | 海外計   | 4,086    | 46.4%  | 3,403    | 33.4%  | △683  | △16.7% |
|      | 中米・北米 | 3,697    | —      | 2,957    | —      | △739  | △20.0% |
|      | アセアン  | 742      | —      | 544      | —      | △198  | △26.7% |
|      | 中国・韓国 | △352     | —      | △98      | —      | 254   | —      |
| 連結調整 |       | △110     |        | △196     |        |       |        |
| 合計   |       | 8,690    | 100.0% | 10,004   | 100.0% | 1,314 | 15.1%  |

## 2. 2025年度 連結業績予想

## 前提

米国における関税等の不確定要素はあるものの、当社が独自に前提を置いて算定

直近の生産動向や為替影響、新製品の量産準備費用の増加等により減収減益を見込む

あらゆるムダを排除し稼ぐ力の本質を追求することで、業績の回復に努める

(百万円)

|                 | FY2024実績   |         | FY2025予想 |        |
|-----------------|------------|---------|----------|--------|
|                 | 通期         | 通期      | 前期比      |        |
|                 |            |         | 増減額      | 増減率    |
| 売上高             | 168,561    | 165,800 | △2,761   | △1.6%  |
| 営業利益            | 10,004     | 7,100   | △2,904   | △29.0% |
| 営業利益率           | 5.9%       | 4.3%    | △1.6Pts  |        |
| 経常利益            | 9,688      | 6,900   | △2,788   | △28.8% |
| 当期純利益           | 6,498      | 5,200   | △1,298   | △20.0% |
| 為替レート<br>(対米ドル) | 実績：151.57円 |         | 予想：144円  |        |

## 関税影響の見積り前提

### ■販売

- ・連結売上高のうち1%程度  
(日本とメキシコ子会社から米国への輸出)

### ■材料調達

- ・対象となる輸入取引額が連結売上高と比べて1%未満であることから直接的影響は軽微

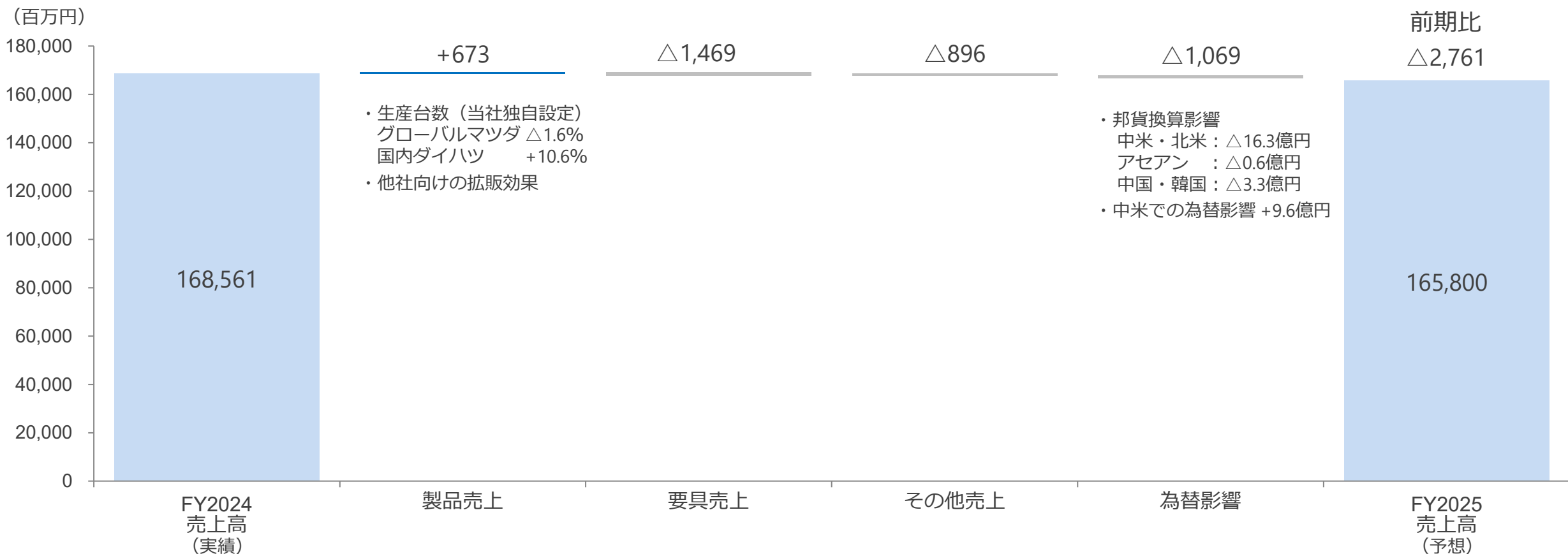
### ■生産台数

- ・顧客を通じて米国に輸出される自動車および自動車部品に係る間接的な影響は見積もることが困難なことから当社が独自に設定

# 2025年度 連結売上高 増減要因（前期比）



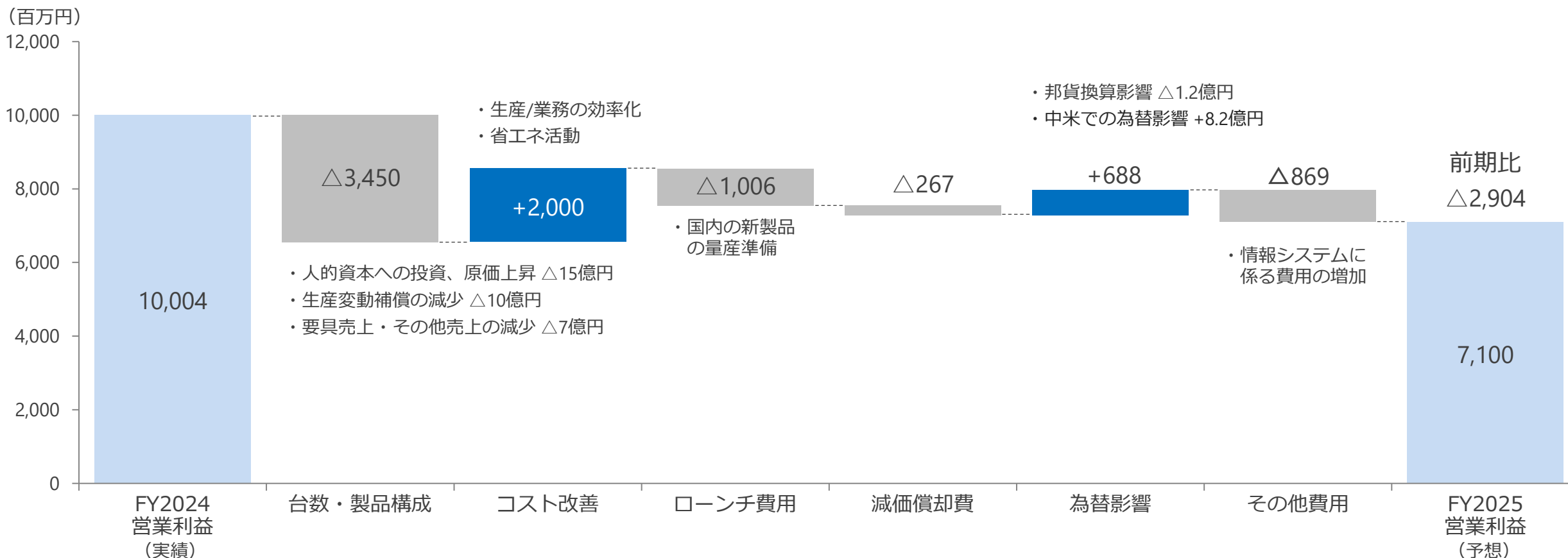
|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 総括   | 要具売上・その他売上の減少、邦貨換算影響等により減収を見込む     |
| 製品売上 | 国内および海外での増加を見込む                    |
| 要具売上 | 前期に量産を開始した製品の要具売上を計上したことに伴う反動減を見込む |



# 2025年度 連結営業利益 増減要因（前期比）



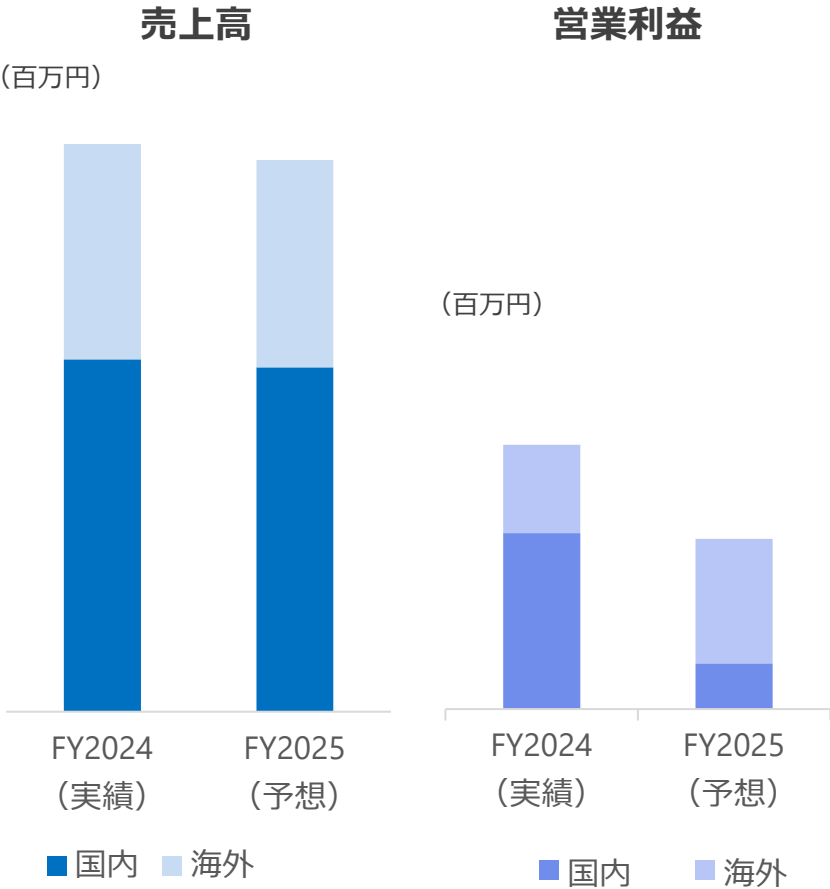
|         |                                           |
|---------|-------------------------------------------|
| 総括      | あらゆるムダを排除したコスト改善活動により、業績の回復に努める           |
| 台数・製品構成 | 人的資本への投資や原価上昇、急激な生産変動に対する補償の減少等の減益影響を織り込み |
| ローンチ費用  | 新製品の量産準備費用の増加を織り込み                        |



# 2025年度 セグメント別業績予想（前期比）



2025年度は、当社が独自に設定した生産台数の前提により、前期実績を下回る見込み



| セグメント | FY2025<br>業績予想 | 増減要因                                                                                        |
|-------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本    | 減収減益           | <div>・ 売上：生産台数と要具売上の減少等により減収</div> <div>・ 利益：急激な生産変動に対する補償の減少、量産準備費用の増加等により減益</div>         |
| 中米・北米 | 減収増益           | <div>・ 売上：北米で増産等の増収効果はあるものの、中米での生産台数の減少、邦貨換算影響により減収</div> <div>・ 利益：北米の増産効果により増益</div>      |
| アセアン  | 減収増益           | <div>・ 売上：顧客生産台数と要具売上の減少等により減収</div> <div>・ 利益：減産影響はあるものの、固定費削減、原価低減等のコスト改善活動の実施により増益</div> |
| 中国・韓国 | 減収黒字転換         | <div>・ 売上：要具売上の減少等により減収</div> <div>・ 利益：製品構成影響による材料費率良化、品質対応費用の減少により黒字転換</div>              |

※グラフは、セグメント間の連結調整額を除いた額で作成しております。

# 設備投資・減価償却費・研究開発費



## ＜＜設備投資＞＞

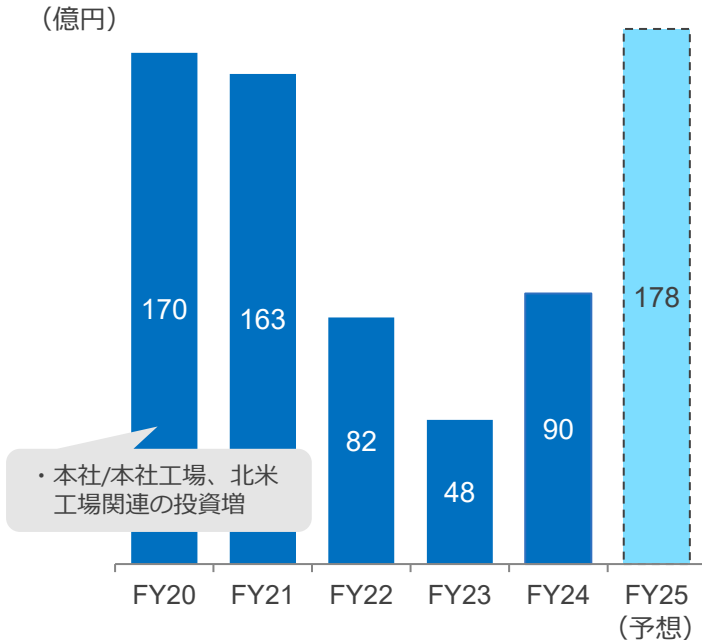
### 2025年度予想

新規受注製品の量産準備および  
高効率なものづくりに向けた設備更新を計画

#### 2025年度内訳

|           |       |
|-----------|-------|
| 設備更新・効率化等 | 126億円 |
| ESG関連     | 48億円  |
| その他       | 4億円   |

(億円)

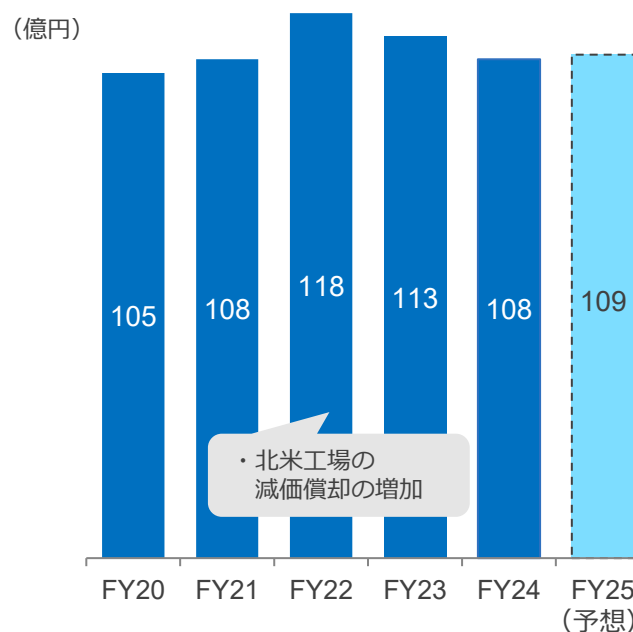


## ＜＜減価償却費＞＞

### 2025年度予想

前期と同水準の109億円を計画

(億円)

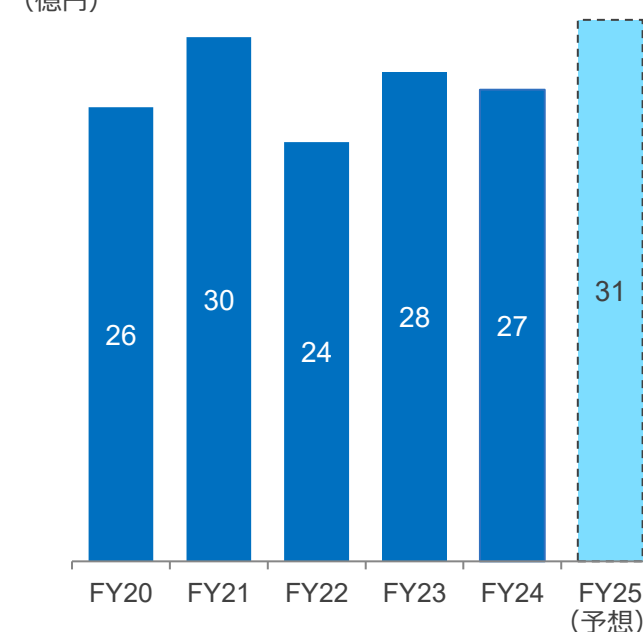


## ＜＜研究開発費＞＞

### 2025年度予想

社会や顧客の期待を上回る商品創出に  
向けた研究開発を強化

(億円)



### 3. 2027年度中期経営計画の進捗状況

# 長期ビジョン&中期経営計画



## 長期ビジョン

### Vision 2040

個性豊かな人材が、樹脂の可能性を追求し、グローバルで  
人・社会・地球に貢献しているエッセンシャルカンパニー

- 樹脂の循環サイクルを確立し、新たな分野へ商品を提供している。
- エンゲージメントが向上し、全社員が会社誇りに誇りをもっている。

### マテリアリティ

#### 人・社会

- D&Iの推進と人権尊重
- キャリアデベロップメント
- ブランディング
- 地域貢献

#### ものづくり

- 付加価値の高い樹脂製品の開発/拡販
- 高品質/高効率な生産

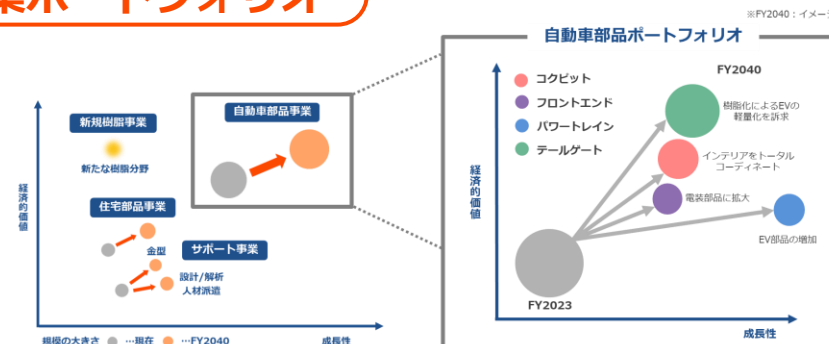
#### 地球

- カーボンニュートラルの実現
- サーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現

#### 経営基盤強化

- 財務パフォーマンスの向上
- リスクマネジメントの強化
- DXの推進
- 公平公正な事業活動

### 事業ポートフォリオ



## 中期経営計画

2040年度の長期ビジョン達成に向けた最初の  
4年間で「**基盤の構築**」と位置づけ

2024～2027年度

### 中期経営計画

Stage1  
基盤の構築

### 中期経営計画

Stage2  
軌道に乗せる

### 中期経営計画

Stage3  
さらに強化する

### 中期経営計画

Stage4  
確立

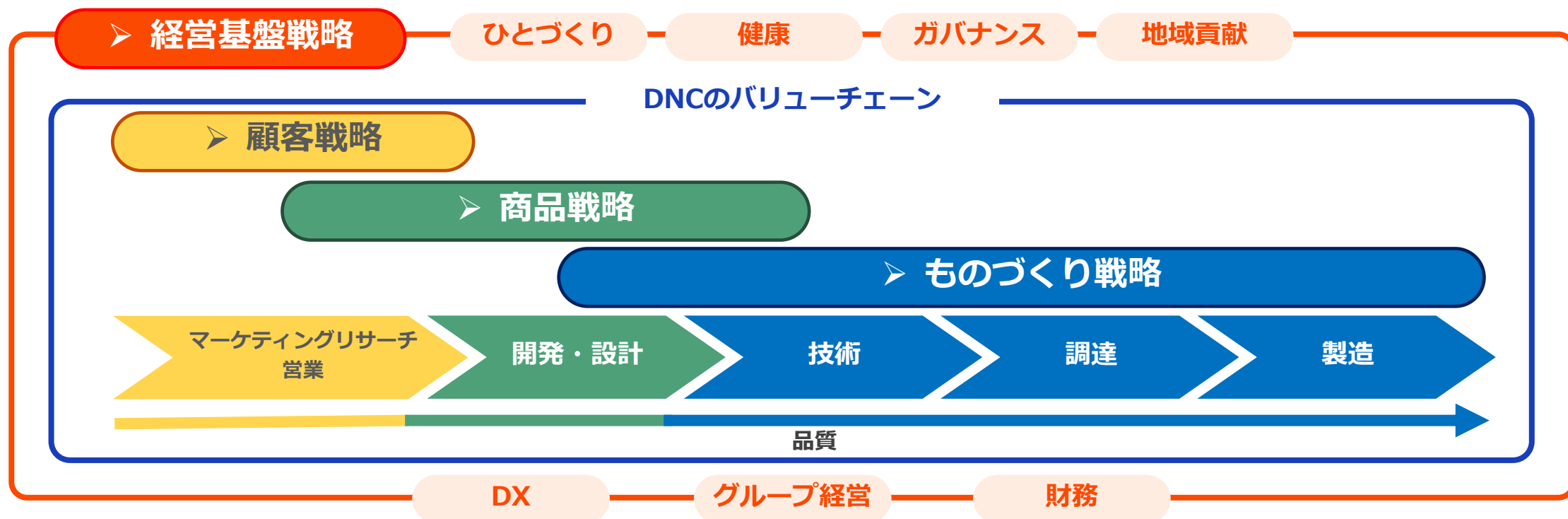
長期ビジョン

GOAL

## 4つの経営戦略を柱として重要課題解決と長期ビジョンの実現に向けて諸施策に取り組む

### 中期経営方針

- ・樹脂の循環サイクルを実現した商品のモデルを生み出す。
- ・ビジネスパートナーを倍増させることを見据えたマーケティングを実施する。
- ・社員一人ひとりが能力を最大限に発揮できるよう、快適で働きやすい職場環境を整備する。



## 中期経営計画策定以降の外部環境の変化

### 米国の追加関税政策

- ・ DNCグループ全体として、固定費削減と原価低減を加速し、損益分岐点台数を下げる
- ・ 米国工場（DNUS）を活用した売上高の拡大、拡販活動の強化

### 中国・アセアンセグメントの業績低迷

- ・ 主要顧客の新製品導入における新規受注の獲得（中国：EU向けモデル、次期EV、タイ：小型SUV）
- ・ タイ拠点間（DMST/DNTH）でのシナジー効果創出

### 資本コストと株価を意識した経営

- ・ 企業の持続的成長に向けた成長投資を積極的に実施するとともに、株主および社員への還元のバランスを再考したキャッシュアロケーションを実行

### 日本における労働人口の減少

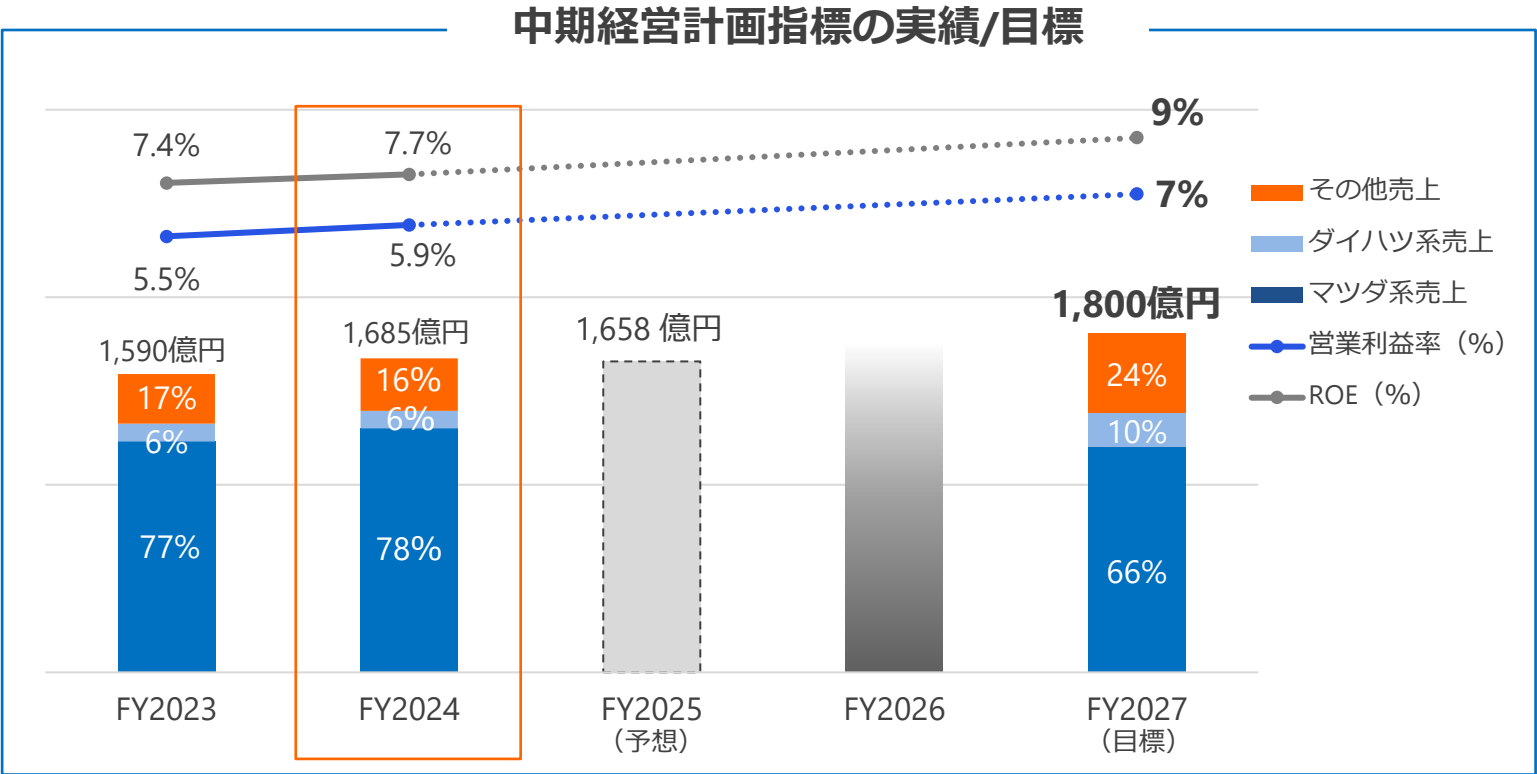
- ・ 7つの基幹システム刷新による業務効率化
- ・ 付加価値労働生産性の向上に向けたものづくり戦略の実行（自動化、無停止生産、品質向上、IoT化等の推進）

**先行きの不透明感は増しているが、中期経営計画の目標の変更は行わない。  
戦略と施策のレベルと実行タイミングの見直しを行い、経営目標の達成に挑む。**

## 安定収益の確保に加え、持続的な成長に向けて経営基盤を固める

連結売上高： 既存OEMとの取引維持拡大を図りつつ、新規OEM/新規Tier1/新規領域を開拓して持続的に成長  
売上高営業利益率： CSR経営の強化を継続して社会課題解決への貢献を行うとともに、固定費削減や原価低減等によって収益力向上に努める  
ROE： 収益力の向上および株主還元の強化や手元資金の適正化等によりROEを向上

|       | 前中計実績<br>(FY2023) | 中計目標<br>(FY2027) | 差異      |
|-------|-------------------|------------------|---------|
| 連結売上高 | 1,590億円           | 1,800億円          | +210億円  |
| 営業利益率 | 5.5%              | 7.0%             | +1.5Pts |
| ROE   | 7.4%              | 9.0%             | +1.6Pts |



# 中期経営計画の進捗 企業価値向上の取り組み



- 2024年11月に「企業価値向上に向けた取り組み」を策定し公表
- 2024年度実績は、ROEは順調に推移したものの、株価の下落によりPBRは2025年3月末時点で0.49倍
- 2027年度のROE9%達成に向け、財務戦略と成長ストーリーを具体化し、企業価値を高める施策を迅速に実行する

## 事業拡大期

- 樹脂製バックドア事業の拡大
- 主要顧客の生産台数の増加
- 保有資産を活用した増産対応

## 投資期

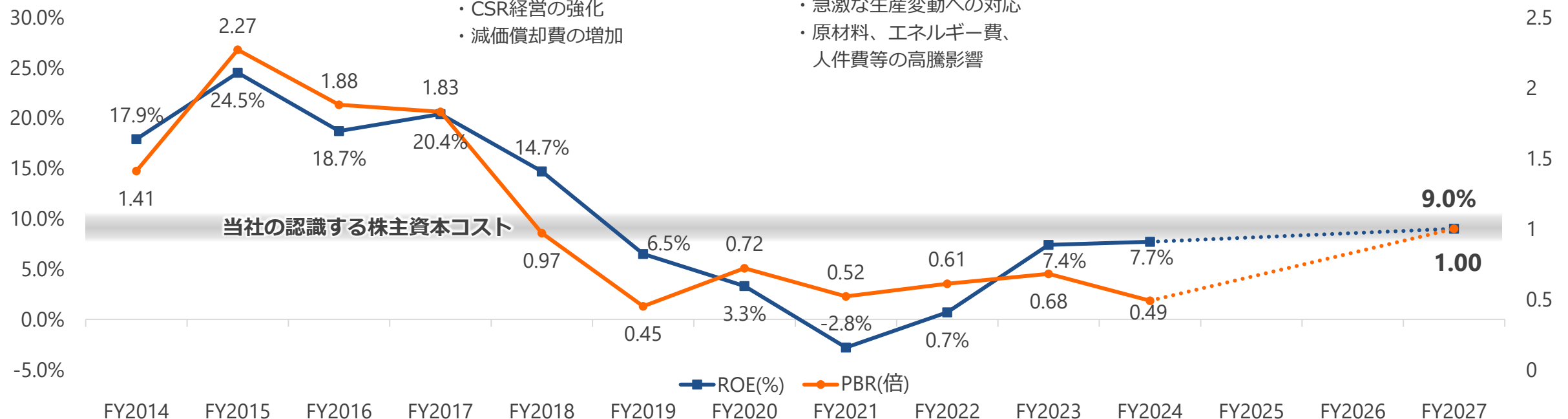
- 本社/本社工場、米国工場の建設
- 広島地区再編プロジェクト
- CSR経営の強化
- 減価償却費の増加

## 新型コロナの影響

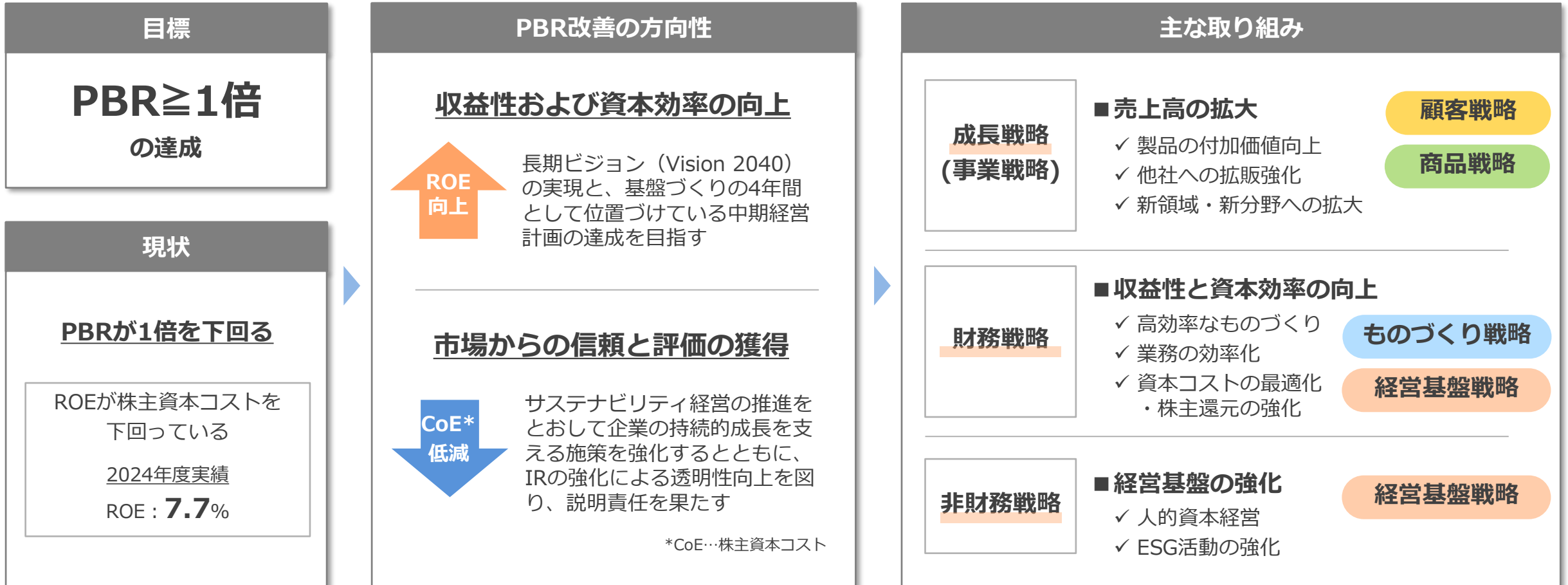
- 急激な生産変動への対応
- 原材料、エネルギー費、人件費等の高騰影響

## 回収・仕込み期

- 本社/本社工場、米国工場の本格稼働
- 2028年度以降の拡販を見据えた準備



## 企業価値向上に向けた成長ストーリーを具体化し、実効的な施策を推進中



## 基本方針・戦略

## テールゲート

**環境対応テールゲート確立** 『易解体構造の確立と更なる軽量化に向けた、ALL樹脂テールゲートの確立』

**顧客の期待を超える技術開発** 『機能統合、安全性/意匠性向上（付加価値技術）』

### FY2024実績

#### 易解体構造の確立

- ・開発コンセプト/ロードマップ立案
- ・接合構造案選定
- ・接合/リサイクル要素技術の開発着手
- ・溶着強度検証完了



### FY2027までの取り組み

#### 環境対応テールゲート確立 / 顧客の期待を超える技術開発

##### 易解体構造

- ・易解体パネル接合
- ・部品取り外し性UP
- ・樹脂材料PIR\*

##### 機能統合

- ・ライト センサー  
部品インテグレート



#### OEM他 共創活動による機能統合開発

##### ALL樹脂 テールゲート

- ・金属補強レス
- ・単一樹脂化

##### 安全性 / 意匠性向上

- ・照明機能統合
- ・表示機能統合
- ・シームレス化 等



\*PIR…Post Industrial Recycling（廃棄物の再資源化）

**DaikyoNishikawa Corporation**

## 基本方針・戦略

## コクピット

\*A/B…エアバッグ

\*HMI…Human Machine Interface（人間と機械の仲介を担う機器）

\*CCB…Cross Car Beam（ステアリングを支持する強度メンバーフレーム）

## 樹脂による価値創造とシステムクリエイターとしての価値提供

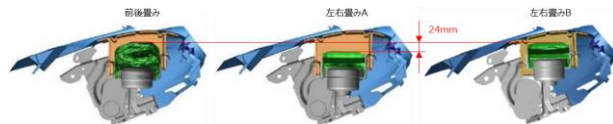
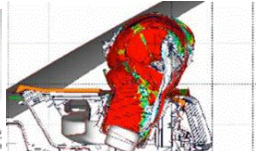
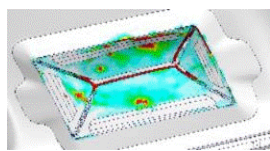
『インテリアシステムクリエイターに必要な技術/技能の手の内化』

### FY2024実績

#### 次世代技術開発のシナリオ構築完了

- 次世代開発車種の技術開発（A/B\*構造開発の机上検証）

##### A/B 展開解析手法構築



安全性能評価 A/B展開解析技術開発

### FY2027までの取り組み

#### 次世代車種へ向けた 最適構造開発完了

軽量化と質感の両立

リサイクル技術の進化



車両衝突性能のメカニズム解明  
機能統合(機能移管) / CCB\*へ進化

高効率な短期開発プロセスの実現 モデルベース開発

#### インテリアシステム クリエイターに向けて

新たなHMI\*技術への対応

多様性に応える空間の実現



新価値の実現へ向けた  
技術の手の内化  
付加価値の開発（機能統合）

## 基本方針・戦略

## フロントエンド

### 最適構造で基本機能（安全性/空力/冷却）を最大化

『軽衝突ダメージ/空力性能/冷却、先進運転支援システム（ADAS）と意匠性を融合』

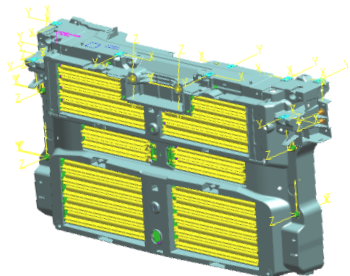
#### FY2024実績

##### 次世代向け技術開発

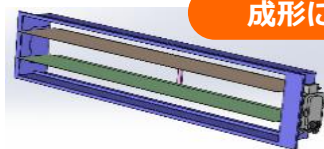
###### 自前化技術開発

グリルシャッター  
自社開発品の量産を開始

物理量ミニマム化を実現



・次世代グリルシャッター  
試作プロトタイプ完成（型内組立工法）



成形による省工程化

・空力性向上アンダーカバー  
試作プロトタイプ  
空力性評価



#### FY2027までの取り組み

##### 新しい価値、対象エリアの拡大 付加価値の高い商品開発

・機能統合したフロントエンド  
モジュールへ進化

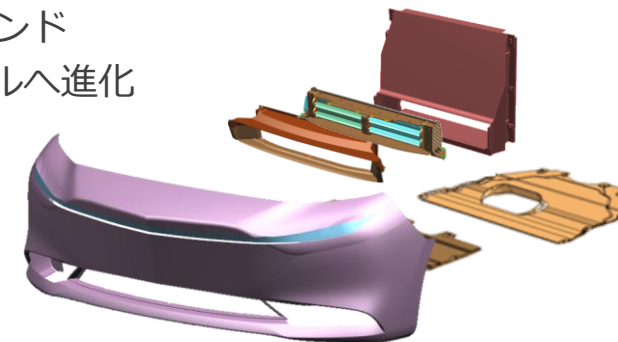
エリア全体での価値創造

最適導風構造

グリルシャッター小型化

ミリ波レーダー

環境型グリル開発



電費向上に貢献する、フロントエンドの実現

##### 空力&環境貢献技術開発

## 基本方針・戦略 パワートレイン

**モーター/バッテリーシステムへの樹脂化の可能性追求** 『機能統合、モジュール化した物理量最適化開発を推進』  
**EV向けの新技术を融合し多様化する電動車に適応** 『内燃機関を含むパワートレインミックスに対応した商品開発』

### FY2024実績

#### 樹脂化メリット最大化の技術開発

① インバータ樹脂化開発完了

耐衝撃性、異材の機密性



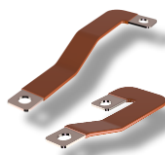
② 冷却水パイプの進化開発完了

ガスアシスト工法（樹脂玉）



③ 高電圧バスバーの新規受注

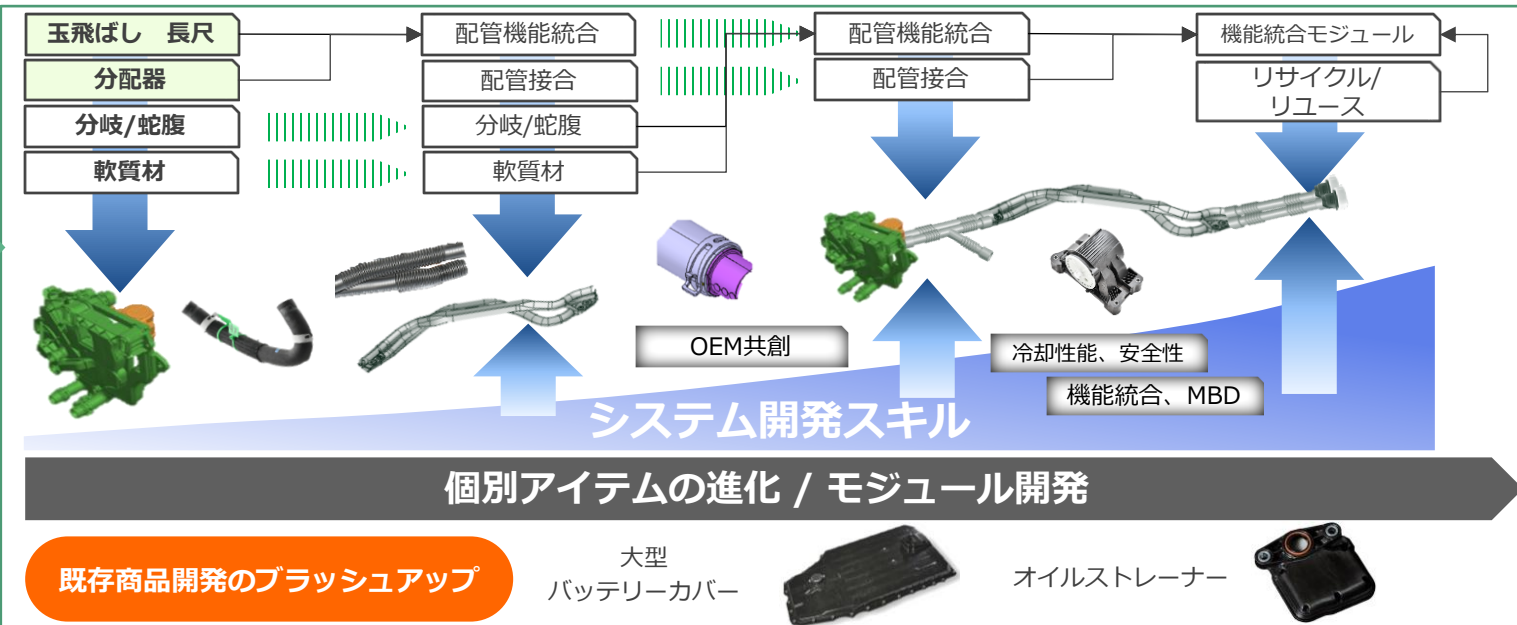
BEV対応



※イメージ

### FY2027までの取り組み

#### 冷却配管機能統合モジュールを中心とした電動車向けの商品開発



## 基本方針・戦略

## モデルベース開発（MBD）・モデルベースリサーチ（MBR）

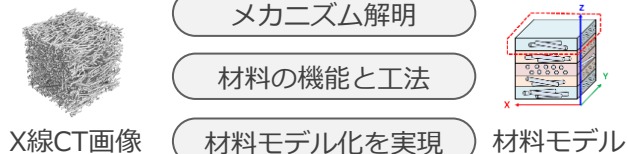
### 高効率な短期開発プロセスの実現に向けたMBD・MBRを進化させる

#### FY2024実績

#### FY2027までの取り組み

#### モデルベースリサーチ（MBR）

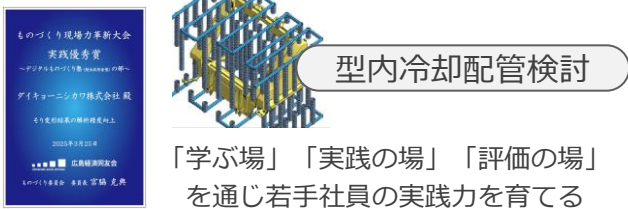
##### 要求性能を満たすモデルを机上で予測



##### MBD解析技術

##### 樹脂流動・そり変形解析 技術開発

ものづくり現場力革新大会 優秀賞 受賞



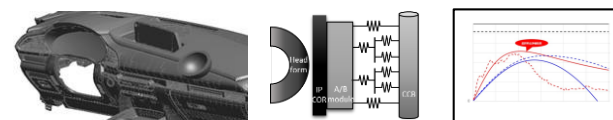
#### モデルベース開発（MBD） インテリアシステムクリエイターに向けて

##### 安全性能評価 A/B展開解析技術開発

A/B展開解析手法構築



##### 高効率な短期開発プロセスの実現



##### 室内快適性評価 熱マネ技術開発



#### 良品条件を追求した、高効率なものづくりの実現 シミュレーション技術の進化



自動化



協働 / 汎用ロボット導入



スマートファクトリー

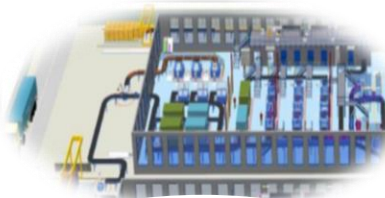


無停止 生産

##### ストレート生産の実現



新しい価値の提供  
必要な技術技能を  
手の内化する



高効率で高品質な  
ものづくりの実現

付加価値向上や環境にやさしい製品開発を推進し、グローバル市場での新規受注獲得につなげる

## 新技術・新製品の拡販に注力中

### 透過加飾技術を活用したHMIパネル

- 新たな価値提供を可能とした世界初\*の技術
- 当社として初めての受注
- 2025年度中の供給開始を予定



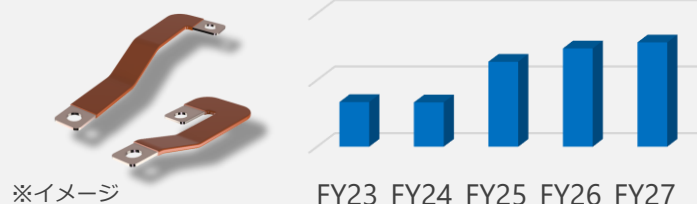
※イメージ

\*2025年4月時点、当社調べ

### 高電圧バスバーの受注拡大

- 高電圧/大電流で省スペースにも対応
- 電動化での採用拡大を見込む

バスバー売上予測



※イメージ

### メキシコ外装塗装製品

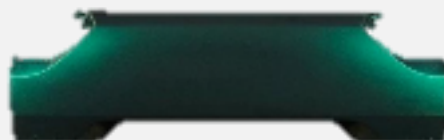
- 2024年12月～ 供給を開始
- メキシコ拠点ではマツダ系列以外で初めてとなる外装塗装製品を受注



※イメージ

### CNF\*を活用した外装塗装製品

- 既存製品比でCO<sub>2</sub>排出量を約30%低減
- 既存製品比で約17%軽量化
- リサイクル性を向上



※イメージ

\*CNF…セルロースナノファイバー

### 微細発泡技術を活用した外装塗装製品

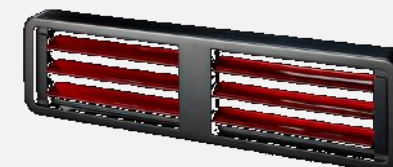
- 既存製品比でCO<sub>2</sub>排出量を約35%低減
- 既存製品比で約40%軽量化



※イメージ

### アクティブグリルシャッターの進化

- 自動車の航続距離延長に貢献
- CO<sub>2</sub>排出量の低減
- 構成部品点数の大幅な削減



※イメージ

## 樹脂に電装技術を取り込んだ新領域の商品を開発推進（人とくるまのテクノロジー展2025で公開予定）

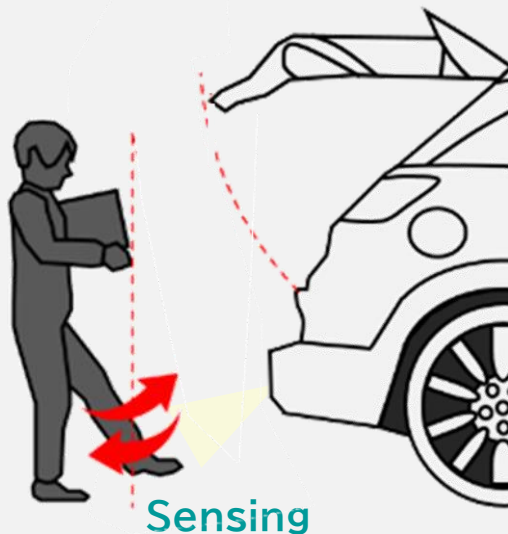
### スマートキックセンサー

4Dミリ波センサーとAI学習により、バックドアの開閉を安全確実に操作

新  
技術



お客様が安全な位置で操作できるようにセンサーの検知範囲を最適化。キックアクションのみに反応するように4Dミリ波センサーとAI学習で制御し誤操作も防止。



### 快適空間の要素技術

インテリアコンセプトモデル「C2035\*」を具現化する要素技術

\*C2035…2035年をターゲットに当社が開発したインテリア空間コンセプトモデル。「C」はConcept。「2035」はターゲットとした年を表している。

新  
技術



スラッシュ技術の進化



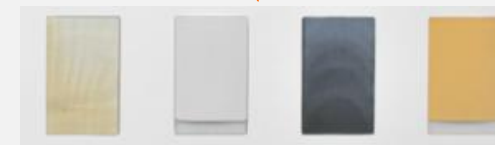
低反射テクスチャー



瀬戸内レモン搾汁後の果皮廃材活用



アロマディフューザー  
(独自インターフェース)



独自の意匠・光表現

## 自動車部品で培ってきた技術力を活かし、新規領域にも挑戦

### 新領域への拡大

#### 設計事業の拡大

自動車部品設計で培った設計ノウハウを応用し、家電領域の設計業務の受注拡大

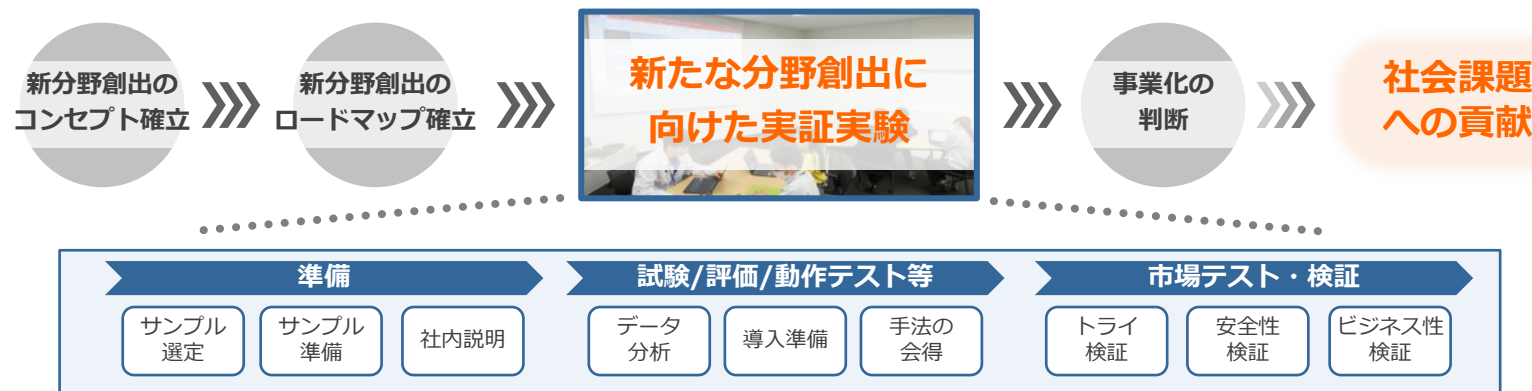


### 新分野の創出

#### スタートアップ企業との協業

新規事業創出プログラムを通じて、スタートアップ企業2社と連携し事業開発を推進中

#### 進捗状況



※実証実験テーマの進行イメージ

#### 触媒技術を活用したケミカルリサイクル

ものづくりで発生する廃棄プラスチックを再生利用し、ゴミゼロを目指す

#### オノマトペ\*で表現した感性の可視化

感性工学にもとづいた、安心・安らぎを感じる素材の開発

\*オノマトペ…様々な状態や動きなどを音で再現した言葉。

# 収益向上 スマートファクトリーの実現

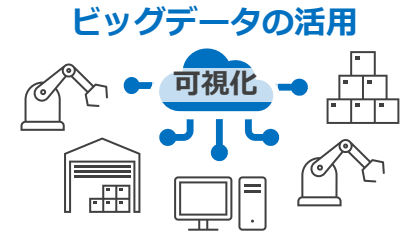


## 生産性能率の向上に向けて、自動化およびIoTの活用による無停止生産を推進

\*生産性能率 = 良品稼働時間 / 総労働時間

|                                            | FY2024 実績                                                                                                                      | FY2025 計画                                                                                            | FY2026 計画                                                                                                     | FY2027 計画                                                                                                |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>生産性能率*</b><br>(FY2023比)<br>省人化          | <b>3.4%UP</b><br>156工数相当                                                                                                       | <b>4.5%UP</b><br>182工数相当                                                                             | <b>7.5%UP</b><br>252工数相当                                                                                      | <b>10.5%UP</b><br>326工数相当                                                                                |
| <b>自動化推進</b><br>要素技術の手の内化                  | <b>+2要素</b><br>13/28要素 (45%)                                                                                                   | <b>+4要素</b><br>17/28要素 (60%)                                                                         | <b>+2要素</b><br>19/28要素 (65%)                                                                                  | <b>+2要素</b><br>21/28要素 (75%)                                                                             |
| <b>設備の無停止生産</b><br>設備故障停止時間<br>(FY2023比)   | <b>10%削減</b><br><b>学習データの収集</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>設備情報分析学習データベース(DB)の収集</li> <li>システム化の事前準備</li> </ul> | <b>25%削減</b><br><b>保全システムの構築</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>分析学習DBの収集、保全指示</li> </ul> | <b>35%削減</b><br><b>IoTとの連動</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>常時状態収集</li> <li>設備状態DBの収集</li> </ul> | <b>50%削減</b><br><b>AI分析による予知保全</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>設備状態DBと分析学習DBの収集</li> </ul> |
| <b>IoT化による不良率の改善</b><br>成形不良率<br>(FY2023比) | <b>5%削減</b><br>成形機ビッグデータ整理と <b>成形不良分析開始</b>                                                                                    | <b>10%削減</b><br>成形機ビッグデータの活用による <b>成形3大悪の不良分析</b>                                                    | <b>15%削減</b><br>成形の不良因子を活用した設備での <b>良品/不良品判別</b>                                                              | <b>20%削減</b><br><b>ビッグデータ分析による予測管理</b><br>(能率向上/不良・故障のロス低減)                                              |

### 目指す姿



### すべての要素の 全自動化

AIを活用した設備不具合の  
事前制御による

### 無停止生産

AIに良品条件を補正させた

### 不良ゼロ工程

# 収益向上 スマートファクトリーの実現



## 自動化技術手の内化

人の作業要素を自動化手法に置き換え、検証・トライし、**自動化技術を確立**

### 要素技術の手の内化

FY2023累計：11/28要素

### 手の内化アイテム

#### FY2024実績

**+2要素**

累計：13/28要素（45%）

マスコット貼付け



トーチ仕上げ

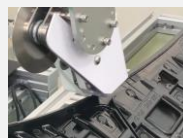


#### FY2025計画

**+4要素**

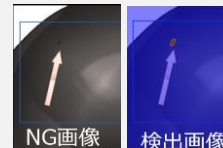
累計：17/28要素（60%）

テープ貼付け



樹脂クリップ

成形外観検査



ナット組付け

#### FY2026計画

**+2要素**

累計：19/28要素  
（65%）

プロテクター  
貼付け（ラバー）

鉄クリップ組付け

#### FY2027計画

**+2要素**

累計：**21/28要素**  
（75%）

リベット組付け

ボルト組付け

## 自動化技術の水平展開

手の内化技術を自働機に導入、工場内搬送自動化を計画中 ⇒ **自動化の拡大によるコスト改善**

#### FY2024実績

**+14工程**

累計：14工程

#### FY2025計画

**+10工程**

累計：24工程

#### FY2026計画

**+15工程**

累計：39工程

#### FY2027計画

**+10工程**

累計：**49工程**

### 自働機導入工程

### 省人化工数

**+28工数**

累計：28工数

**+20工数**

累計：48工数

**+31工数**

累計：79工数

**+21工数**

累計：**100工数**

## 顧客の増産に応じた柔軟な生産対応により、2024年度は当期純利益で通期の黒字化を達成

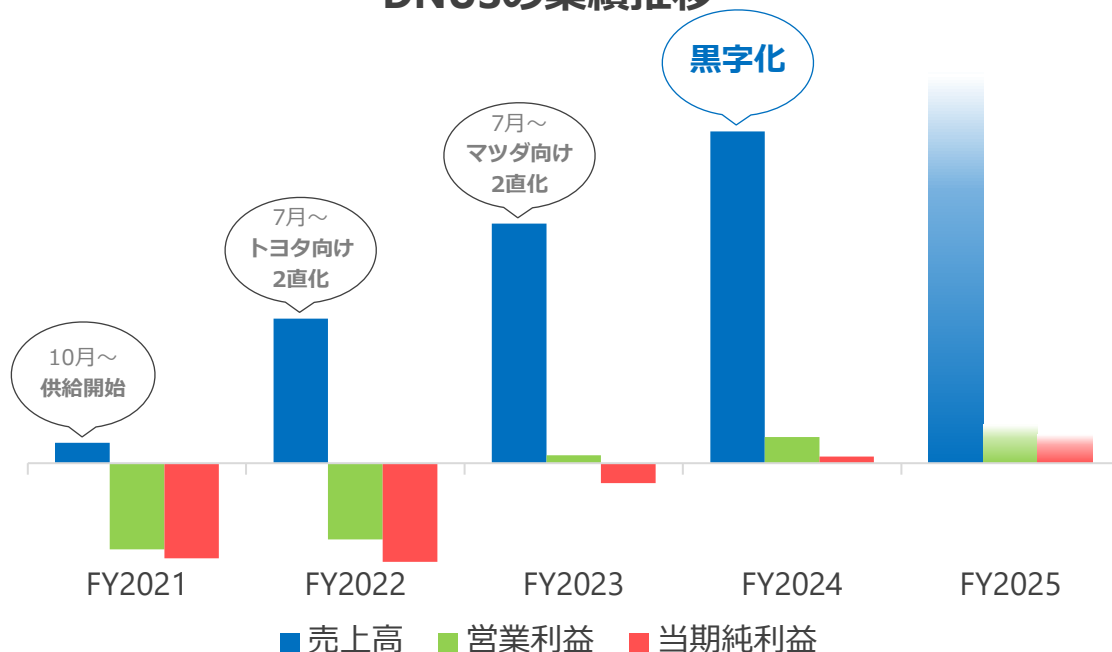
### 生産体制

- マツダ向けの生産台数増加に柔軟に対応
- 自動化ラインの稼働開始により労務費を抑制

### 実績

- 増産および継続的な原価低減活動により、通期で当期純利益の黒字化を達成

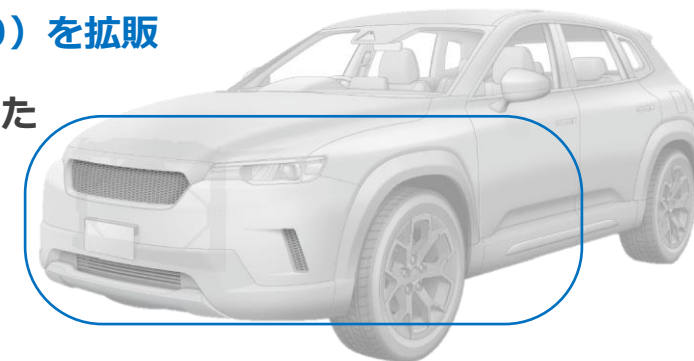
### DNUSの業績推移



### 直近の拡販、生産状況

#### 外装部品（フロント周り）を拡販

受注製品の拡大に向けた  
提案活動を継続



- 顧客要求である短期開発、垂直立ち上げを実現
- 増産対応に向けた計画的な採用/育成を実施し、スムーズに量産を開始

### 今期の見通し、更なる成長に向けて

- 今後の増産に対して着実に追従
- 新規顧客獲得に向けたプレゼンテーションに注力

## DX推進による基幹システムの連携

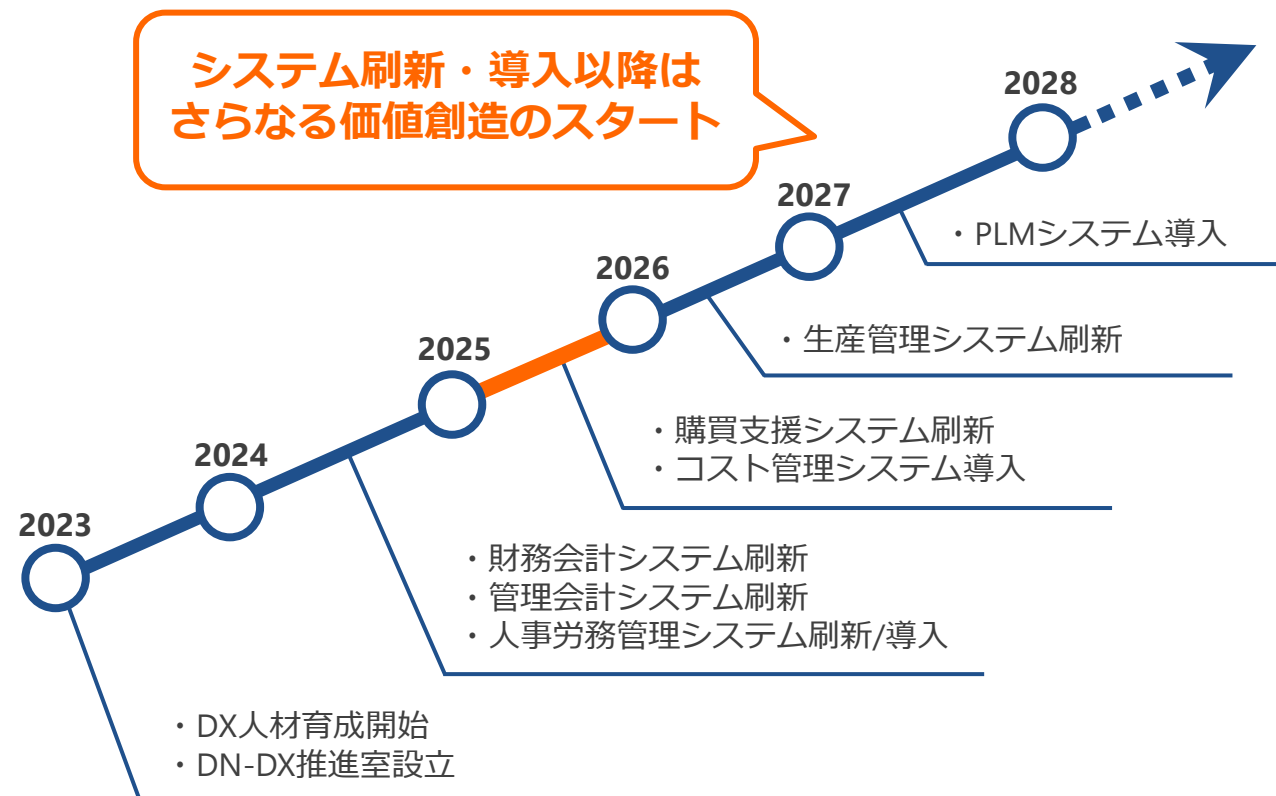
7つのシステム間の連携を強化させることで個別最適から全体最適への変革を目指し、業務プロセスの最適化を加速

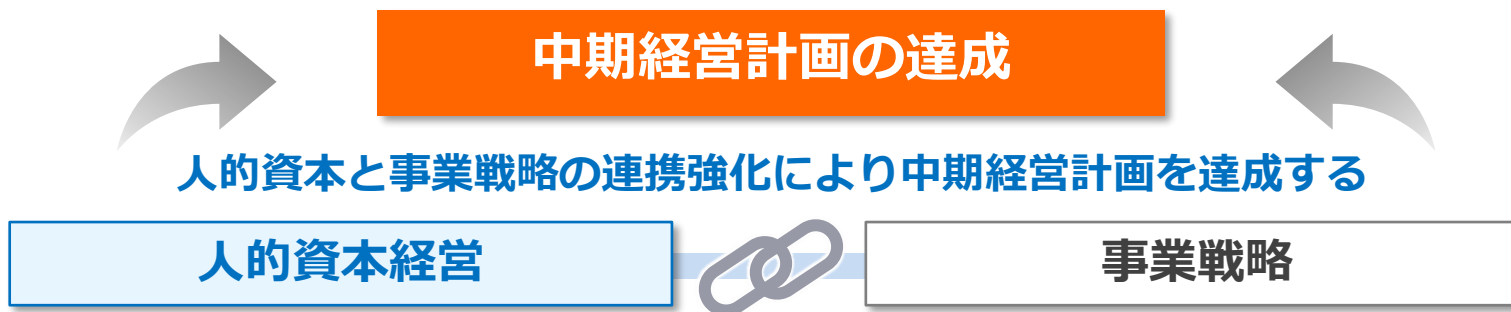


\*PLM…Product Lifecycle Management (製品のライフサイクル全体を統合的に管理する仕組み)

## システム刷新を軸とした業務効率の改善

システム刷新を軸として業務改革を推進し、  
2027年度までに間接業務工数**30%**削減を目指す





## 目指す姿

一人ひとりの個性を活かすひとづくりを実現

### 01 必要な人材の明確化

- 組織として必要な人材が可視化された動的な人材ポートフォリオを構築する

#### コンピテンシー評価

組織のリーダーに必要な行動特性を可視化

#### ジョブディスクリプションの策定

ポストごとに必要な人材を4つの要素に分けて明確化

### >>> 02 As is / To be のギャップ対策

- 人材の現状（As is）と理想（To be）のギャップを把握し、配置/採用/育成などの各施策の強化につなげる

#### キャリア形成

#### 採用強化

#### 後継者育成

#### 適性配置

### 03 能力が発揮できる環境づくり

#### D&Iの推進

- 新しい知の結合によりイノベーションを生み、新たな価値の創造につなげる

#### エンゲージメント向上

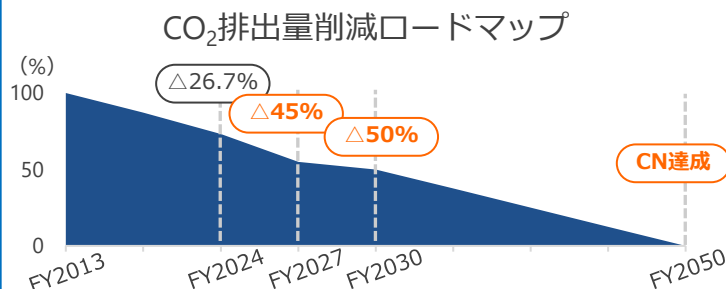
- 主体性/自発性を引き出し、多様性が活きる組織を実現する

## E

## 環境

### カーボンニュートラルへの対応

- 2027年度目標  
CO<sub>2</sub>排出量（Scope 1・2）  
2013年度比 **45%減**
- 2024年度進捗：26.7%減



- 目標達成に向けた主な取り組み
  - ✓ 省エネステップ活動
  - ✓ 省エネ（生産技術革新）
  - ✓ 再生可能エネルギーの導入

## S

## 社会

### D&Iに向けた取り組み

- 2027年度目標
  - 女性管理職：13名
  - 女性監督職：42名
  - 男性育休取得率：90%
- 2025年3月末時点進捗
  - 女性管理職：10名
  - 女性監督職：29名
  - 男性育休取得率：38.7%

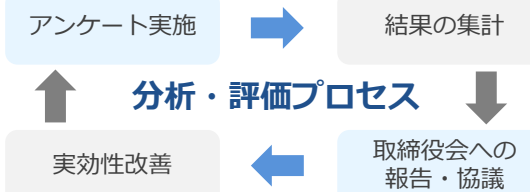
- 目標達成に向けた主な取り組み
  - ✓ D&I推進プロジェクトの推進
  - ✓ 階層別教育とD&Iの理解浸透活動の実施
  - ✓ エンゲージメントサーベイの導入および評価の実施

## G

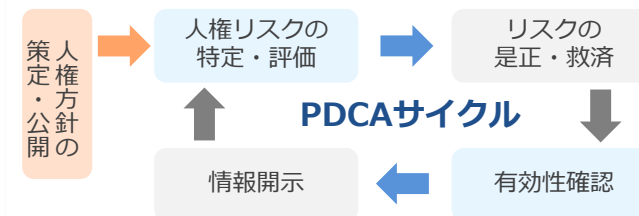
## ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスの強化

- 取締役会の実効性向上
  - ✓ 取締役会の出席率改善
  - ✓ 構成員の多様性の確保に向けた検討

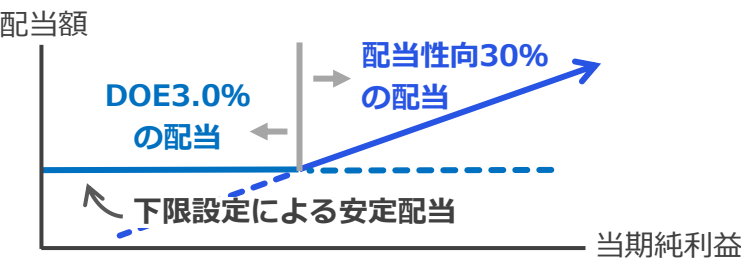


- 人権デューデリジェンスの構築
  - ✓ 人権方針を策定・開示し、PDCAを回す



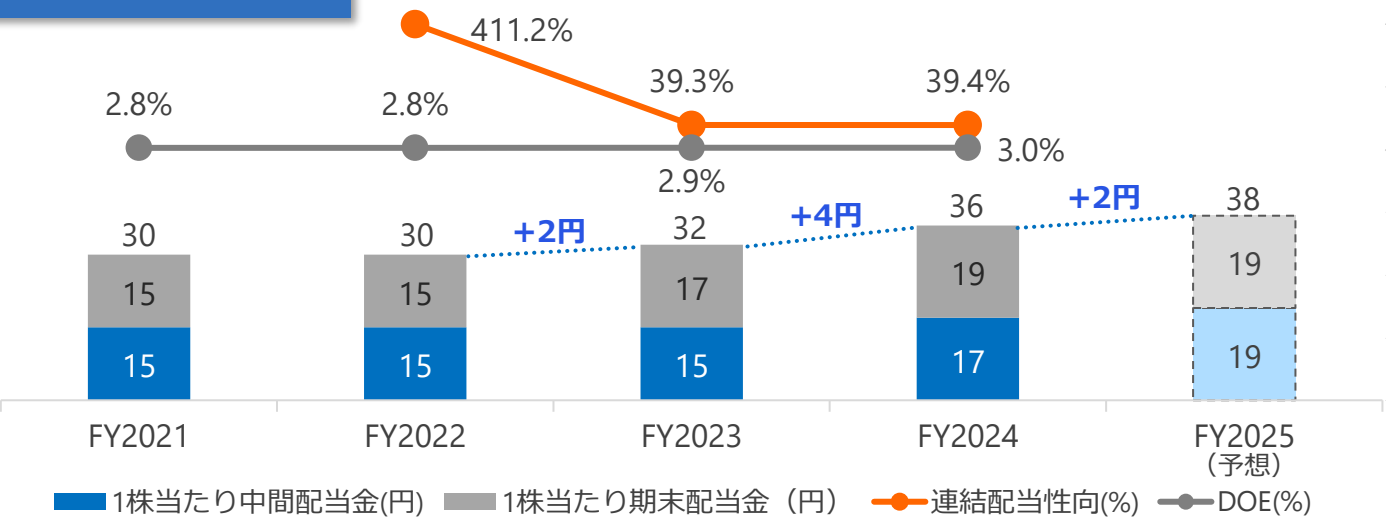
## 配当方針の見直し

- 連結純資産配当率（DOE）3.0%を下限とし、  
連結配当性向30%程度を目安



株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、安定的・継続的な配当を行うことを基本とする。

## 配当金・配当性向



## 自己株式の取得

### 方針

財務状況や中長期的な資金需要を踏まえ、適宜実行する

### 自己株式取得を実施

|            |                            |
|------------|----------------------------|
| 取得対象株式の種類  | 当社普通株式                     |
| 取得し得る株式の総数 | 4,250,000株（上限）             |
| 株式の取得価額の総額 | 20億円（上限）                   |
| 取得期間       | 2025年5月14日～<br>2025年10月31日 |
| 取得方法       | 東京証券取引所における<br>市場買付        |

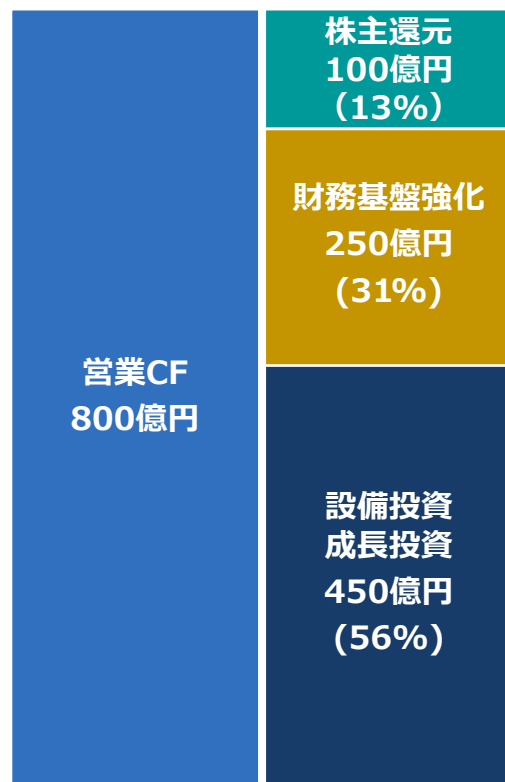
本自己株式取得によって取得する株式は全数消却を予定しております。

# キャッシュアロケーション



## 見直し前の資金配分

(見直し前)  
FY2024~FY2027累計  
概算：約800億円

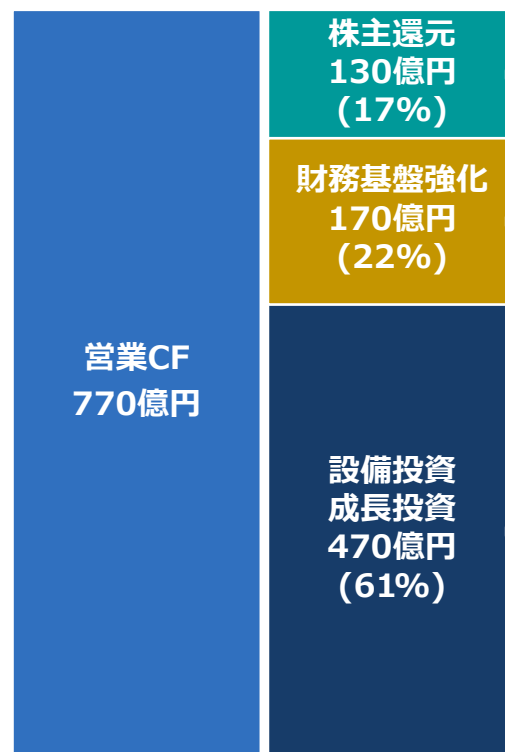


資金の源泉

資金の使途

## 見直し後の資金配分

(見直し後)  
FY2024~FY2027  
概算：約770億円



資金の源泉

資金の使途

### 株主還元

- ・ 配当：DOE 3.0%を下限とし、連結配当性向30%程度を目安とする安定配当
- ・ 自己株式取得：20億円を上限とする取得と取得株式消却の実施を決定

### 財務基盤強化

- ・ グループ資金運用管理の強化
- ・ 今後の経営状況をふまえ、株主還元と設備投資・成長投資に適切に配分

### 設備投資・成長投資

- ・ 既存設備の更新や増強、要具投資
- ・ 新規車種開発投資
- ・ 研究開発：樹脂の循環サイクル開発
- ・ 人的資本：キャリア形成のためのタレントマネジメントシステム導入
- ・ DX：データドリブンの迅速な意思決定のための基盤構築
- ・ カーボンニュートラル：樹脂の循環サイクル開発

### 【ご注意事項】

本資料には、戦略や見通しなど将来の業績に関する記述が含まれております。これらは現時点における当社の判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでいます。経営環境の変化など様々な要因により、変更されることがあります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

実際の結果は様々な要因によって見通しと異なる可能性があることをご了承下さい。

### 【IRに関するお問合せ先】

経営企画本部 経営企画部

IRグループ

Tel : 082-493-5610

# Appendix

# 主要な業績及び財務指標の推移（連結）



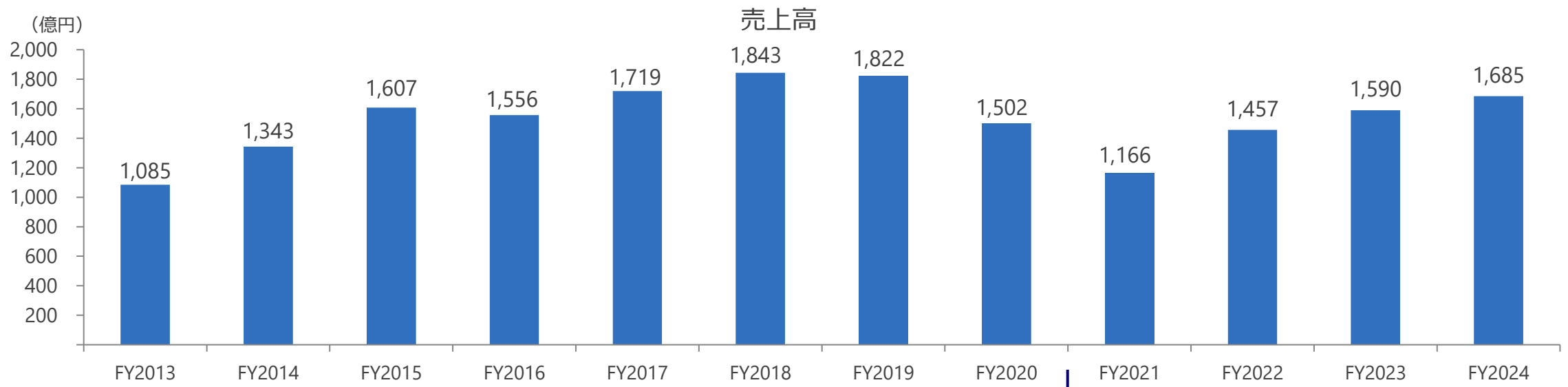
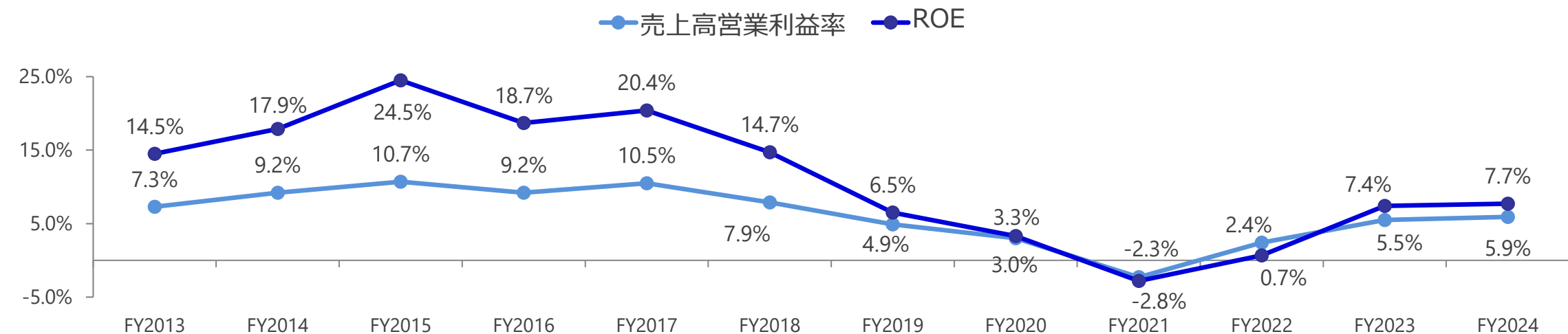
|                     | FY2018   | FY2019   | FY2020   | FY2021   | FY2022   | FY2023   | FY2024   |
|---------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 売上高                 | 184,314  | 182,219  | 150,234  | 116,669  | 145,744  | 159,019  | 168,561  |
| 売上原価                | 160,738  | 163,780  | 136,690  | 108,934  | 131,955  | 138,550  | 146,186  |
| 売上総利益               | 23,575   | 18,438   | 13,544   | 7,735    | 13,789   | 20,469   | 22,375   |
| 販売費及び一般管理費          | 8,954    | 9,443    | 9,087    | 10,368   | 10,335   | 11,778   | 12,370   |
| 営業利益(損失)            | 14,621   | 8,995    | 4,456    | △2,632   | 3,453    | 8,690    | 10,004   |
| 営業利益率               | 7.9%     | 4.9%     | 3.0%     | △2.3%    | 2.4%     | 5.5%     | 5.9%     |
| 営業外収益               | 764      | 1,121    | 1,273    | 2,191    | 807      | 1,634    | 2,391    |
| 営業外費用               | 550      | 616      | 342      | 544      | 1,396    | 1,548    | 2,707    |
| 経常利益(損失)            | 14,836   | 9,500    | 5,386    | △985     | 2,864    | 8,775    | 9,688    |
| 特別利益                | 332      | 318      | 2,264    | 1,277    | 19       | 1,851    | 10       |
| 特別損失                | 279      | 2,140    | 4,097    | 1,201    | 368      | 2,371    | 155      |
| 税金等調整前当期純利益(損失)     | 14,889   | 7,678    | 3,553    | △909     | 2,515    | 8,255    | 9,543    |
| 法人税等                | 3,838    | 2,455    | 1,595    | 1,274    | 1,975    | 2,872    | 2,964    |
| 非支配株主に帰属する当期純利益(損失) | 648      | 315      | △578     | △98      | 21       | △399     | 80       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(損失) | 10,402   | 4,907    | 2,536    | △2,085   | 518      | 5,782    | 6,498    |
| 設備投資                | 16,489   | 25,012   | 17,011   | 16,313   | 8,278    | 4,811    | 9,097    |
| 減価償却費               | 9,561    | 10,716   | 10,510   | 10,798   | 11,895   | 11,383   | 10,885   |
| 研究開発費               | 3,003    | 2,968    | 2,603    | 3,049    | 2,473    | 2,842    | 2,714    |
| 売上高成長率              | 7.2%     | △1.1%    | △17.6%   | △22.3%   | 24.9%    | 9.1%     | 6.0%     |
| 自己資本当期純利益率(ROE)     | 14.7%    | 6.5%     | 3.3%     | △2.8%    | 0.7%     | 7.4%     | 7.7%     |
| 総資産経常利益率(ROA)       | 10.4%    | 6.4%     | 3.5%     | △0.6%    | 1.8%     | 5.4%     | 6.1%     |
| 1株当たり当期純利益(EPS)(円)  | 146.82   | 69.27    | 35.75    | △29.37   | 7.30     | 81.34    | 91.36    |
| 1株当たり純資産(BPS)(円)    | 1,048.45 | 1,088.74 | 1,089.41 | 1,045.26 | 1,063.76 | 1,135.11 | 1,227.65 |
| 1株当たり配当金(円)         | 34.00    | 30.00    | 30.00    | 30.00    | 30.00    | 32.00    | 36.00    |
| 配当性向(%)             | 23.2%    | 43.3%    | 83.9%    | -        | 411.2%   | 39.3%    | 39.4%    |
| 純資産配当率(DOE)(%)      | 3.4%     | 2.8%     | 2.8%     | 2.8%     | 2.8%     | 2.9%     | 3.0%     |
| 配当利回り(%)            | 3.3%     | 6.1%     | 3.9%     | 5.6%     | 4.7%     | 4.2%     | 6.0%     |
| 株価純資産倍率(PBR)(倍)     | 0.97     | 0.45     | 0.72     | 0.52     | 0.61     | 0.68     | 0.49     |
| 株価収益率(PER)(倍)       | 6.92     | 7.13     | 21.65    | -        | 88.36    | 7.35     | 6.55     |
| 従業員数(名)             | 5,265    | 5,432    | 5,414    | 5,482    | 5,461    | 5,601    | 5,779    |

|               | FY2018  | FY2019  | FY2020  | FY2021  | FY2022  | FY2023  | FY2024  |
|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 流動資産          | 85,554  | 77,137  | 80,257  | 69,316  | 73,672  | 80,327  | 73,097  |
| 現金預金          | 37,571  | 32,529  | 39,842  | 28,455  | 28,070  | 39,079  | 30,922  |
| 受手、売掛金、電子記録債権 | 35,995  | 33,056  | 31,760  | 29,138  | 33,916  | 29,647  | 30,760  |
| 棚卸資産          | 10,119  | 9,564   | 7,399   | 7,592   | 8,136   | 8,349   | 8,247   |
| その他流動資産       | 1,867   | 1,987   | 1,255   | 4,130   | 3,548   | 3,250   | 3,167   |
| 固定資産          | 60,801  | 73,347  | 79,037  | 86,845  | 89,226  | 80,898  | 81,457  |
| 有形固定資産        | 55,189  | 68,346  | 73,167  | 80,432  | 81,036  | 75,670  | 75,843  |
| 無形固定資産        | 976     | 767     | 741     | 799     | 887     | 1,105   | 1,555   |
| 投資その他資産       | 4,634   | 4,233   | 5,128   | 5,613   | 7,302   | 4,121   | 4,058   |
| 資産合計          | 146,356 | 150,484 | 159,295 | 156,162 | 162,899 | 161,225 | 154,554 |
| 流動負債          | 47,057  | 47,007  | 45,557  | 39,067  | 45,456  | 44,793  | 43,031  |
| 支手、買掛金、電子記録債務 | 26,448  | 25,579  | 24,823  | 22,904  | 24,999  | 22,278  | 23,412  |
| 短期借入金         | 2,509   | 1,757   | 1,694   | 1,442   | 1,470   | 1,498   | 1,550   |
| 一年内返済借入金      | 2,941   | 2,912   | 2,272   | 4,882   | 5,562   | 5,779   | 5,052   |
| リース債務         | 3,298   | 3,344   | 2,807   | 2,755   | 2,729   | 2,846   | 1,589   |
| その他流動負債       | 11,859  | 13,412  | 13,958  | 7,083   | 10,693  | 12,390  | 11,426  |
| 固定負債          | 22,097  | 23,089  | 33,848  | 40,176  | 39,020  | 33,178  | 21,573  |
| 社債・長期借入金      | 15,549  | 17,658  | 29,241  | 34,128  | 32,191  | 28,068  | 18,106  |
| リース債務         | 2,790   | 2,089   | 1,431   | 2,899   | 2,930   | 2,102   | 724     |
| その他固定負債       | 3,757   | 3,341   | 3,175   | 3,147   | 3,898   | 3,007   | 2,743   |
| 負債合計          | 69,155  | 70,096  | 79,405  | 79,243  | 84,477  | 77,971  | 64,605  |
| 純資産合計         | 77,200  | 80,387  | 79,889  | 76,918  | 78,422  | 83,254  | 89,949  |
| 有利子負債         | 27,089  | 27,762  | 37,447  | 46,108  | 44,885  | 40,294  | 27,022  |
| ネット有利子負債      | △10,482 | △4,766  | △2,394  | 17,652  | 16,814  | 1,214   | △3,899  |
| 自己資本比率        | 50.8%   | 51.3%   | 48.5%   | 47.5%   | 46.4%   | 50.1%   | 56.5%   |
| 営業キャッシュフロー    | 3,219   | 19,584  | 16,788  | 3,705   | 14,048  | 20,372  | 16,783  |
| 投資キャッシュフロー    | △19,539 | △24,370 | △17,567 | △20,107 | △8,991  | 1,593   | △7,582  |
| 財務キャッシュフロー    | 10,286  | △2,012  | 8,565   | 3,579   | △7,618  | △8,801  | △18,348 |
| FCF           | △16,320 | △4,786  | △779    | △16,402 | 5,056   | 21,966  | 9,200   |

※ 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用したことに伴い、従来は有償受給取引において顧客より支給を受けた部品の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識しておりましたが、部品の仕入価格を除いた対価の純額で収益を認識することとしております。

※ 2023年度の1株当たり配当金には、東京証券取引所上場10周年を記念した記念配当2円を含んでおります。

# 経営指標の推移



収益認識基準適用

インストルメントパネル、バンパー等の内外装の樹脂製品に加え、現在は樹脂製バックドアの拡販に注力中  
将来のEV化への対応を見据え、新たな戦略製品としてバッテリーカバー等の拡販を推進

## 主要製品

インストルメントパネル



マツダ、ダイハツ、  
ホンダ

バンパー



マツダ、トヨタ、ダイハツ、三菱

## 注力中の製品

バックドア・テールゲート



ダイハツ、  
ホンダ

## 新規販売先の戦略製品

オイルストレーナー



マツダ、ダイハツ、トヨタ、ホンダ、日産、SUBARU等

ウォーターパイプ



## EV化に向けた戦略製品

バッテリーカバー



マツダ、トヨタ、SUBARU等

バスバー

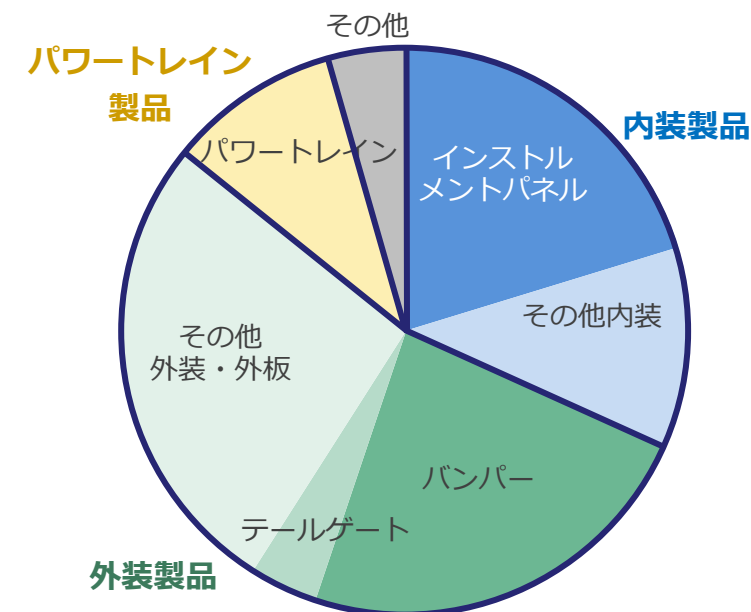


給油・給電口

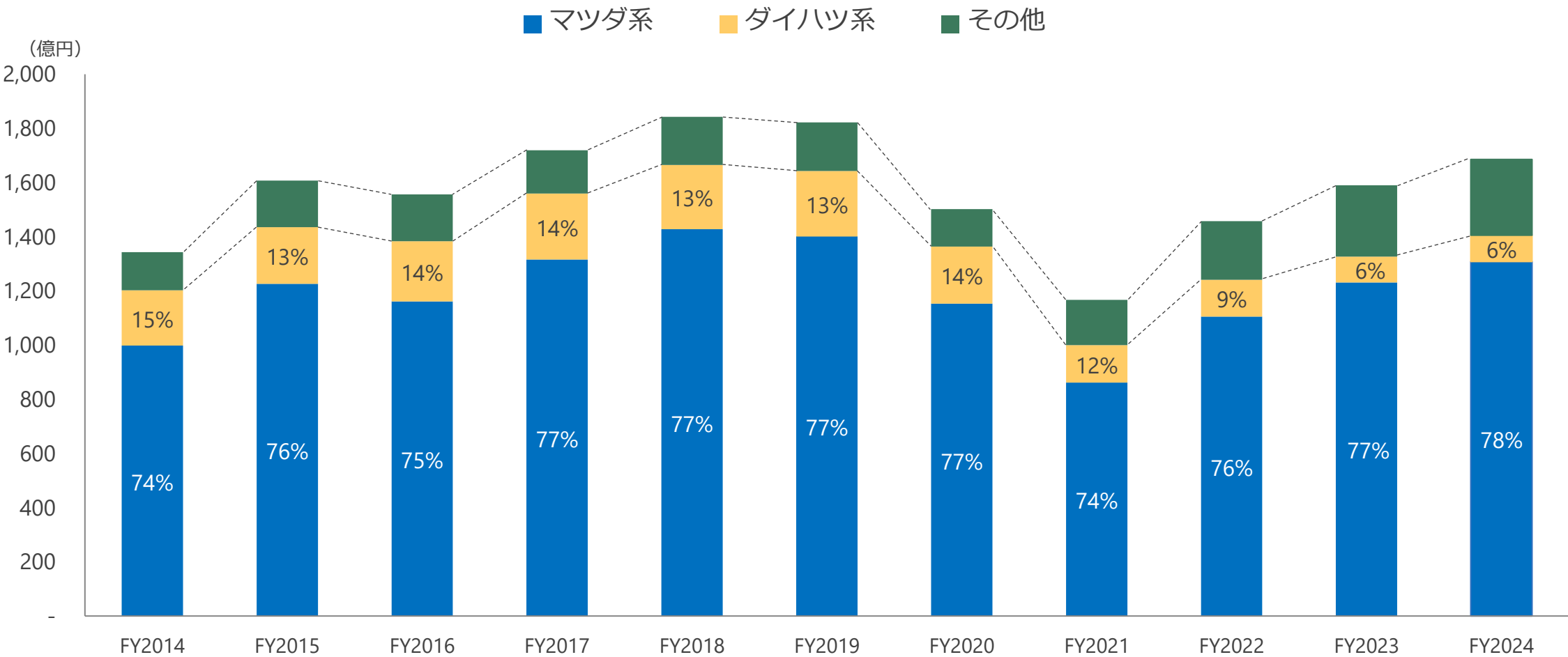


## 製品別売上比率

売上高 1,685億円（2024年度）



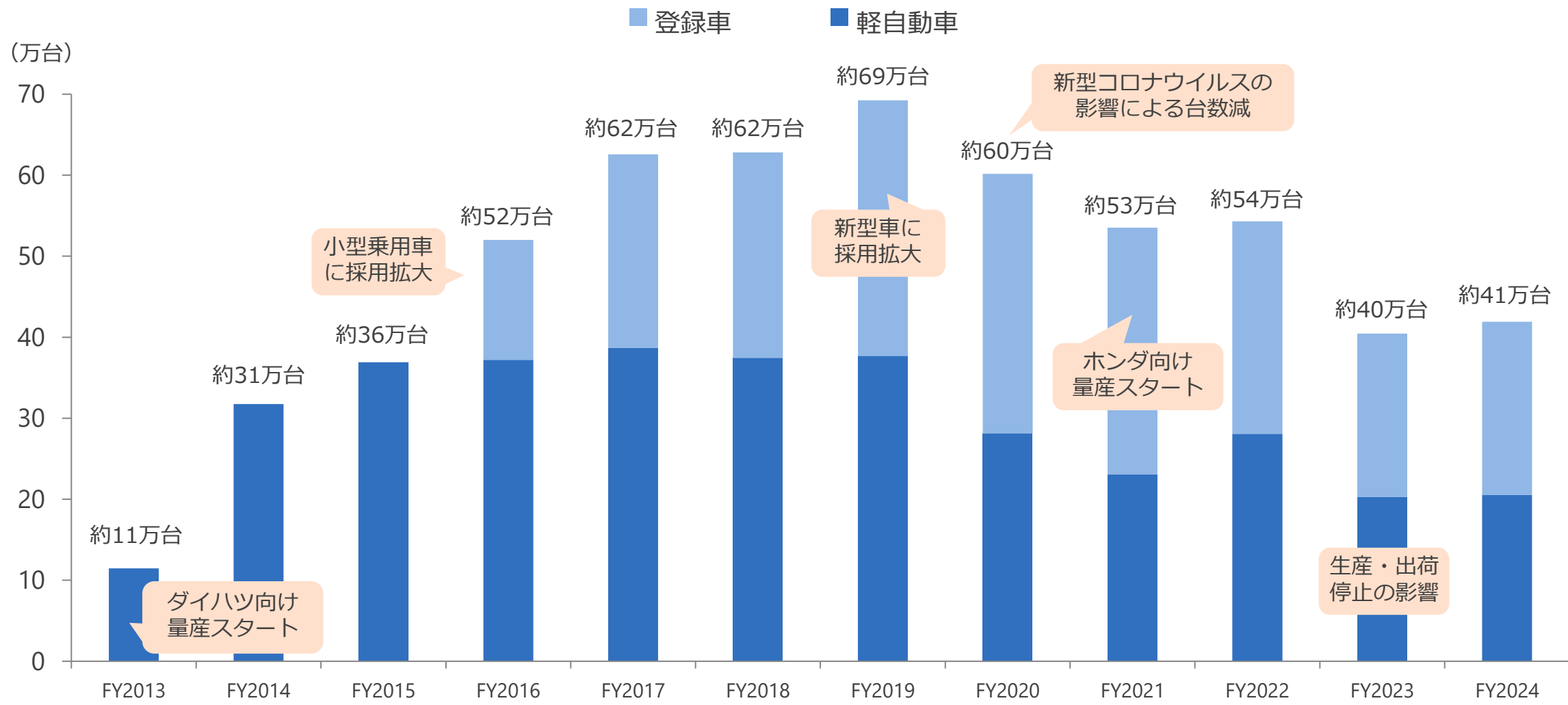
## 「その他」の顧客へも拡販中



# 樹脂テールゲート採用台数実績



さらなる採用拡大を目指し、OEM各社への拡販にも注力中



# 2024年度 連結実績（四半期推移）



|       |                                                   |
|-------|---------------------------------------------------|
| 総括    | 第4四半期は第3四半期と比べると増収増益                              |
| 売上高   | 北米での生産変動に対する補償、中米での為替影響、邦貨換算影響等により増収              |
| 営業利益  | 北米での生産変動に対する補償、中米での為替影響、第3四半期に一過性費用を計上した反動増等により増益 |
| 経常利益  | 開発中止補償収入の計上、営業利益の増加等により増益                         |
| 当期純利益 | 法人税の特別控除年度分反映による法人税等の減少等により増益                     |

|       | FY2023 |        |        |        | FY2024 |        |        |        | 増減額<br>FY24Q4/FY24Q3 | 増減率<br>FY24Q4/FY24Q3 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------------|----------------------|
|       | Q1     | Q2     | Q3     | Q4     | Q1     | Q2     | Q3     | Q4     |                      |                      |
| 売上高   | 37,217 | 40,253 | 42,897 | 38,651 | 40,568 | 42,930 | 41,835 | 43,226 | 1,391                | 3.3%                 |
| 営業利益  | 1,339  | 2,945  | 2,890  | 1,514  | 2,675  | 3,016  | 1,156  | 3,156  | 1,999                | 172.9%               |
| 営業利益率 | 3.6%   | 7.3%   | 6.7%   | 3.9%   | 6.6%   | 7.0%   | 2.8%   | 7.3%   | 4.5pts               |                      |
| 経常利益  | 1,749  | 2,868  | 2,513  | 1,644  | 3,357  | 1,975  | 1,292  | 3,062  | 1,769                | 136.8%               |
| 当期純利益 | 1,150  | 1,799  | 2,324  | 507    | 2,331  | 922    | 575    | 2,668  | 2,093                | 364.0%               |

# 2024年度 セグメント別 外部売上高（四半期推移）



|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 日本    | 主要顧客の生産台数の減少等により減収                   |
| 中米・北米 | 北米での生産変動に対する補償、中米での為替影響、邦貨換算影響等により増収 |
| アセアン  | 顧客生産台数の減少等により減収                      |
| 中国・韓国 | 主要顧客および中国国内の顧客生産台数の増加等により増収          |

(百万円)

|       |       | FY2023 |        |        |        | FY2024 |        |        |        | 増減額<br>FY24Q4/FY24Q3 | 増減額<br>FY24Q4/FY24Q3 |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------------|----------------------|
|       |       | Q1     | Q2     | Q3     | Q4     | Q1     | Q2     | Q3     | Q4     |                      |                      |
| 国内    | 日 本   | 23,973 | 28,107 | 28,487 | 22,723 | 24,826 | 26,297 | 26,525 | 26,142 | △383                 | △1.4%                |
| 海 外 計 |       | 13,244 | 12,145 | 14,409 | 15,928 | 15,741 | 16,632 | 15,310 | 17,084 | 1,774                | 11.6%                |
| 海外    | 中米・北米 | 9,186  | 8,275  | 10,295 | 10,424 | 11,615 | 11,648 | 10,667 | 12,375 | 1,707                | 16.0%                |
|       | アセアン  | 3,465  | 2,581  | 2,825  | 3,092  | 2,633  | 2,506  | 3,093  | 2,574  | △519                 | △16.8%               |
|       | 中国・韓国 | 592    | 1,288  | 1,288  | 2,411  | 1,492  | 2,478  | 1,548  | 2,134  | 586                  | 37.8%                |
| 合 計   |       | 37,217 | 40,253 | 42,897 | 38,651 | 40,568 | 42,930 | 41,835 | 43,226 | 1,391                | 3.3%                 |

# 2024年度 セグメント別 営業損益（四半期推移）



|       |                                                   |
|-------|---------------------------------------------------|
| 日本    | 減収影響はあったものの、諸経費の減少等により増益                          |
| 中米・北米 | 北米での生産変動に対する補償、第3四半期に一過性費用を計上した反動増、中米での為替影響等により増益 |
| アセアン  | 減収影響等により減益                                        |
| 中国・韓国 | 増収影響等により赤字幅を縮小                                    |

(百万円)

|        |       | FY2023 |       |       |       | FY2024 |       |       |       | 増減額<br>FY24Q4/FY24Q3 | 増減額<br>FY24Q4/FY24Q3 |
|--------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|----------------------|----------------------|
|        |       | Q1     | Q2    | Q3    | Q4    | Q1     | Q2    | Q3    | Q4    |                      |                      |
| 国内     | 日 本   | 165    | 2,387 | 1,649 | 511   | 1,611  | 1,968 | 1,368 | 1,849 | 480                  | 35.1%                |
|        | 海 外 計 | 1,583  | 837   | 876   | 790   | 1,232  | 1,217 | △125  | 1,079 | 1,204                | －                    |
| 海外     | 中米・北米 | 1,322  | 674   | 1,074 | 625   | 1,117  | 787   | △296  | 1,349 | 1,646                | －                    |
|        | アセアン  | 521    | 170   | △40   | 91    | 237    | 81    | 371   | △146  | △517                 | －                    |
|        | 中国・韓国 | △260   | △7    | △157  | 72    | △122   | 347   | △200  | △123  | 76                   | －                    |
|        | 連結調整  | △409   | △278  | 364   | 213   | △168   | △169  | △86   | 227   |                      |                      |
| 連結営業利益 |       | 1,339  | 2,945 | 2,890 | 1,514 | 2,675  | 3,016 | 1,156 | 3,156 | 1,999                | 172.9%               |